

レッツ原価管理Go! 機能追加・変更に伴う記載変更点

お客様のご要望を取り入れた「レッツ原価管理Go! Ver1.17.0」をリリース致しました。

レッツではお客様のご要望を取り入れ、日々ソフトウェアを改善し続けております。

ソフトに関する機能の追加、改善のご意見・ご要望等お気軽にご連絡下さい。

※2021年10月12日時点での全ての本マニュアル追加・変更事項を記載しております。「◀」が今回変更点です。

ページ	機能	内容
全般		画面下にお知らせ機能を追加しました。
		最新のプログラムが提供されている場合、お知らせする機能を追加しました。
	マスター、見積書、工事	マスター、見積書、工事のコードで半角カタカナ、全角文字が使用可能になりました。 (マスター:会社銀行、作業種類、摘要、単位、第2区分は使用できません)
	検索	[F7検索]画面の出力順を保持するようにしました。 [非転記]「転記済」の条件指定方法を変更しました。 各伝票、入力リストの検索条件に「消費税率」を追加しました。
	明細タイプの集計表全般	金額が0(無し)の明細を出力するようにしました。
	画面サイズ	画面サイズの変更を記憶するようにしました。 サイズの変更後、開き直した際にも同じサイズで表示します。
	日常処理全般	税区分に「非売仕」「共売仕」を追加しました。 「非売仕」非課税売上上要する課税仕入 「共売仕」共通売上上要する課税仕入 ※この2つの税区分は会計ソフトと連動する場合に使います ※平成23年度税制改正(9%ルールの見直し)に伴い、税区分を分ける場合に使います ※この税区分はレッツ原価管理Go!の中では「課税」と同じに扱います ※テキスト読込の場合は11:非売仕、12:共売仕 登録済の工事登録、得意先、仕入先のコードを変更した際に、登録前に確認メッセージを表示するようにしました。 各伝票に「連番設定」機能を追加しました。→P.48 連番設定(伝票)
	文字サイズ	メニューバー「ファイル」に「文字サイズ設定」を追加しました。 文字のサイズを「9~18」の中から選択できます。
	工事集計表	下記集計表に「表示項目」ボタンを追加しました。 工事原価明細、工種・仕入先予算実績、工事別支払集計、工事別収支一覧、出面集計
	新元号対応	新元号「令和」の表示に対応しました。
	消費税制改正対応	各種画面にて、10%消費税制改正対応用の項目を追加しました。 ・環境設定 伝票初期値に「軽減税率」を追加しました。 ・各種伝票の税区分に軽減税率対応区分を追加しました。 ・適格請求書等保存方式(インボイス)に対応しました。 →P.47 10%消費税制改正対応
6	動作環境	対応OS(サーバー)にMicrosoft Windows Server 2022を追加しました。
7		対応OS(クライアント)にMicrosoft Windows 11を追加しました。
		製品に同梱するデータベースをSQL Server 2017 Express Editionに変更しました。
33	バックアップ	バックアップデータの容量が小さくなるように改善しました。 (今までの約1/10の大きさになります) バックアップに「☑[ドキュメント]フォルダーに予備のバックアップデータを作成する(推奨)」オプションを追加しました。 ON=[ドキュメント]フォルダーの中に[レッツ原価管理Go!]フォルダーを自動作成して、その中に予備のバックアップデータを作成します。 OFF=予備のバックアップデータを作成しません。
37	参照	工事を参照した時の進捗(すべて、未成、完成)の絞込が保持できるようにしました。 コードの頭出し参照が可能になりました。 直前伝票参照画面に「税抜金額/消費税額/税込金額/工事名称」を追加しました。 各種伝票の直前伝票の参照画面に「検索」ボタンを追加しました。 得意先、仕入先の参照画面に「略称」を追加しました。
38	工事の条件指定	工事検索画面に工事経歴書用の項目を追加しました。
41	主なボタンの機能	[F6工事]ボタンを追加しました。 工事を出力する集計表から選択した工事の登録画面を表示します。
42	検索	[☑]仕様 摘要も検索する」オプションを追加しました。 ON=検索条件の「商品」に入力した内容が「仕様 摘要」にある伝票も検索します。 各種伝票の検索機能を強化しました。 ・「合計」「明細」の選択を追加しました。 ・「税抜」「税込」の選択を追加しました。 ・工事の検索に「見積番号」の項目を追加しました。
45	メモ	メモが入力されている場合、ボタンの表示が「メモ有」と変わるようにしました。 文例のタイトルの文字数を拡張しました。 全角6字→全角10字 文例のタイトルを変更できるようにしました。

47	PDF印刷	次回変更するまでPDFファイルの出力先を保存します。
	TEXT書出	保存先のパスとファイル名を直接入力できるようにしました。 次回変更するまでテキストファイルの書出し先を保存します。
48	Excel書出	Excelテンプレートの保存場所を任意の場所に設定できるようにしました。
		見積書のExcel書出で、表紙と明細を一度に書出できるようにしました。 保存先のパスを直接入力できるようにしました。
58	テキスト読込	(種類 = 伝票の場合のみ) 消費税額自動計算オプションを追加しました。 自動計算: 読み込むデータの税計算、消費税率から消費税額を自動計算する。 読込データの消費税額: 読み込むデータの消費税額をそのまま読み込む。
58	テキスト読込	(読込先 = 出面書の場合のみ) 金額自動計算オプションを追加しました。 自動計算: 読み込むデータから金額を自動計算する。 読込データの消費税額: 読み込むデータの金額をそのまま読み込む。 前回のテキスト読込条件を記憶するようにしました。
60	台帳	「入力必須項目設定」を追加しました。伝票登録時の必須項目を任意に設定できます。
60	基本設定	『工事コード桁数』を追加しました。 桁数: 半角4~10桁 ここで指定した桁数を超える工事コードは登録ができなくなります。 登録済みの工事コードは、桁数を超過していても、コードを修正しない限りそのまま使用可能です。
		「 <input checked="" type="checkbox"/> 数字の工事コードは「0」に合わせる」オプションを追加しました。 新しく登録する工事コードが数字の場合、設定した桁数まで左側を「0」で埋めて補完します。 (例) 桁数:6のとき「100」と入力 → 『000100』
		「 <input checked="" type="checkbox"/> アイコンメニューに前回バックアップ実行日を表示する」オプションを追加しました。 ON = アイコンメニュー[日常]の右下に前回バックアップ実行日を表示します。 OFF = 前回バックアップ実行日を表示しません。
		「 <input type="checkbox"/> 日間バックアップを実行していない場合に注意メッセージを表示する」オプションを追加しました。 バックアップを指定の日数を実行していない場合、Go!起動時に注意メッセージを表示します。
61	運用設定	《10%消費税制改正対応》 基本設定に「登録番号」項目を追加しました。 適格請求書発行事業者の登録番号を入力します。
		見積書・工事登録・各種伝票にスタンプの名称がそれぞれ設定可能になりました。
		「 <input checked="" type="checkbox"/> 完成工事の確認をする」オプションがONの場合に表示されるメッセージに完成日を追加しました。
		「入力日付範囲」の範囲外の伝票から複写が出来るようにしました。
		入力日付範囲に「 <input checked="" type="checkbox"/> 伝票毎に設定する」オプションを追加しました。 ON = 伝票毎に入力日付範囲の設定ができます。
		「 <input checked="" type="checkbox"/> 請負金額と売上金額が一致しているか確認する」オプションを追加しました。
		「 <input checked="" type="checkbox"/> 未承認の見積書(発注書)をExcel書き出しする」オプションを追加しました。
62	伝票初期値	「 <input checked="" type="checkbox"/> 承認済伝票のみ他伝票へ複写可にする」オプションを追加しました。 ON = 未承認の伝票は他の伝票へ複写できなくなります。
		「 <input checked="" type="checkbox"/> 発注書登録時に予算を確認する」オプションを追加しました。 ON = 発注書の登録時に発注金額が実行予算をオーバーしている場合、確認画面が表示されます。
		複数の消費税率と適用開始日が登録できます。 工事登録、各種伝票画面への税率セットに使います。
63	得意先初期値	《10%消費税制改正対応》 伝票初期値に「軽減税率」を追加しました。軽減税率として入力する消費税率を設定します。
63	得意先初期値	得意先マスタの「税計算」初期値が設定可能になりました。
		入金条件「 <input type="checkbox"/> %」の合計が100%未満でも登録できるようにしました。 入金サイクルに「請求日と同じ」を追加しました。
64	仕入先初期値	仕入先マスタの「税計算」初期値が設定可能になりました。
		支払条件「 <input type="checkbox"/> %」の合計が100%未満でも登録できるようにしました。
		「手形丸め桁」に「100,000円の桁」を追加しました。 支払サイクルに「仕入日と同じ」を追加しました。
66	名称設定	工事登録「グループ」を名称設定の対象に追加しました。
		工事登録 実行予算の「当初予算」「請負金額」を名称設定の対象に追加しました。
67	ユーザー設定	「権限設定」の見積書・工事登録・各種伝票に下記項目を追加しました。 ①「上記以外」 … スタンプや承認のボタン以外を変更できる権限 ②「完成」(工事登録のみ) … 完成チェック、進捗日、進捗率を変更できる権限
71	見積書基本設定	環境設定の年表示と別に、見積書上の年表示が設定可能になりました。(見積基本設定より設定)
		見積番号に枝番を入力することが可能になりました。(見積基本設定より設定)
72	見積書基本設定	印刷設定に「 <input checked="" type="checkbox"/> 上階層の「仕様」も印刷する」オプションを追加しました。 ON = 各ページの明細1行目に出力される上階層行に仕様を印刷します。 OFF = 上階層行の仕様を印刷しません。
		「見積日」に任意文字入力が可能になりました。 見積書の設定タブより見積毎に設定できます。 桁数: 全角10字

72	見積書基本設定	印刷設定に「 <input checked="" type="checkbox"/> 税率を印刷する」オプションを追加しました。 印刷設定の「 <input checked="" type="checkbox"/> 階層毎に改頁する」に詳細オプションを追加しました。 「大」「中」「小」「細」「商品」のうち、チェックをONにした階層で改頁します。
73	書式設定	「F5書式名」を追加しました。 書式データ名を「データ1～10」から変更できるようにしました。
74	発注書	書式設定の印刷様式に「 <input checked="" type="checkbox"/> No出力あり」オプションを追加しました。
75	発注書	書式設定の印刷様式に出力項目を追加しました。 「名称」「名称・仕様」「商品コード・名称」「商品コード・名称・仕様」から選択。 ※「商品コード・名称・仕様」を選択した場合、仕様が入力されている行は2行目に仕様のみが行が印刷されます。 書式設定に「 <input checked="" type="checkbox"/> 税率を印刷する」オプションを追加しました。
79	売上伝票	書式設定 印刷項目に「 <input checked="" type="checkbox"/> 税率を印刷する」オプションを追加しました。
80	請求明細書	《10%消費税改正対応》 書式設定に適格請求書等保存方式(インボイス)に対応する項目を追加しました。 ・登録番号 適格請求書発行事業者の登録番号を入力する。F4読みで環境設定から自動セットできます。
83	科目 税区分	《10%消費税改正対応》 軽減税率対応区分を追加しました。 「軽課仕」「軽課売」「軽完仕」「軽完売」「軽仕返」「軽売返」「軽立仕」「軽非売」「軽共売」
84,85	部門、工種	同一階層内の並び順を変更できるボタンを追加しました。
88	得意先	「担当」(自社担当)を追加しました。 見積書、工事登録、売上伝票で得意先を指定すると対応項目にここで指定した担当がセットされます。 ※売上伝票は入力設定を変更することでセットが出来ます。 得意先一覧画面の検索項目に「郵便番号」「住所1」「住所2」を追加しました。 得意先一覧画面の並び順に「郵便番号」「住所1」「住所2」を追加しました。 印刷画面のオプション 印刷形式に「タックシール(ヒガ)GB961_A4タック12面)」を追加しました。 タックシール印刷に「 <input checked="" type="checkbox"/> 仕入先を個別に選択する」オプション、同一シール印刷枚数の設定を追加しました。 得意先一覧の検索に「備考」を追加しました。
89		得意先ごとに「税計算」の設定が可能になりました。
88,90	得意先、仕入先	印刷書式設定を追加しました。 「連番設定」を追加しました。 「部署名」の桁数を増加しました。 全角6字→全角20字 「役職名」の桁数を増加しました。 全角6字→全角10字
90	仕入先	仕入先一覧画面の検索項目に「郵便番号」「住所1」「住所2」を追加しました。 仕入先一覧画面の並び順に「郵便番号」「住所1」「住所2」を追加しました。 印刷画面のオプション 印刷形式に「タックシール(ヒガ)GB961_A4タック12面)」を追加しました。 タックシール印刷に「 <input checked="" type="checkbox"/> 仕入先を個別に選択する」オプション、同一シール印刷枚数の設定を追加しました。 仕入先ごとに「税計算」の設定が可能になりました。
91		
92	振込設定	預金種別に「貯蓄預金」を追加しました。
93	商品	商品一覧の検索に「仕様」を追加しました。
99	従業員	勤怠項目を10個対応にしました。 SET 項目6:予備1、項目7:予備2、項目8:予備3、項目9:予備4、項目10:予備5 ※項目名は「勤怠項目名設定」で変更が可能です。
103	日常処理	「前受金請求書」機能を追加しました。
104	見積書	見積書の印刷書式に「見積書 2頁目以降表題無(A4縦)」を追加しました。 (2頁目以降は明細だけを出力します) 連番設定を使用している場合、登録時に見積番号を表示するようにしました。 明細入力に「行切」ボタンを追加しました。 検索画面に明細入力の項目を追加しました。 「商品」「明細(名称)」「明細(仕様)」「工種」「仕入先」「原価科目」「売上科目」 実行予算書 明細のExcel書出用項目を追加しました。 「**M標準数量」「**M標準単価」「**M標準金額」 明細一括設定機能を追加しました。 工種、仕入先などの項目を複数明細に一括設定できます。 検索画面に表示する項目を追加しました。 「表示項目」ボタンで表示する項目を選択できます。 見積書 2頁目以降表題無(A4縦)のExcel書出用項目を追加しました。 「**実行金額」 PDF出力に「 <input checked="" type="checkbox"/> 表紙と明細をまとめて出力する」オプションを追加しました。 ヘッダー部の利益計算用の項目(金額種類1、金額種類2)の設定内容を記憶するようになりました。 見積書の新規画面で選択した内容が記憶されます。
105		参照・検索画面に「閲覧」ボタンを追加しました。 見積作成中に他の見積書を閲覧モードで開くことが出来ます。

105		連番設定に担当・部門毎に自動付番する機能を追加しました。
		入力設定に「 <input checked="" type="checkbox"/> 得意先参照時に住所1を場所に表示する」オプションを追加しました。
		入力設定に「項目設定」を追加しました。
		「関連ファイル」を追加しました。 登録中の見積書に関連する外部ファイルをリストに登録し、ここから随時開くことができます。
		関連ファイルが登録されている場合、ボタンの表示が「関連ファイル有」と変わるようにしました。
106	見積書	明細入力にEnterキー移動方向オプションを追加しました。 クライアントPC毎に「右移動」「下移動」を記憶します。
		分類集計で、選択表示した分類で次回表示も表示するようにしました。 クライアントPC毎に記憶します。
		見積番号桁数:4~10字
		表紙の見積日によって消費税を自動セットするようにしました。
		明細入力画面の「印」で「空白」「見印無」「実印無」「全印無」より選択可能にしました。 ※「印無」を選ぶと青文字で表示します。 空白(選択無) = 全ての印刷様式に印刷する。 見印無 = 見積書 内訳明細書に印刷しない。 実印無 = 実行予算書 明細に印刷しない。 全印無 = 「見積書 内訳明細書」「実行予算書 明細」のどちらにも印刷しない。
107		見積書の明細入力画面とExcel間で、直接コピー&貼付ができるようにしました。 (行複、行貼機能の動きが、クリップボードを使った動きに変わります。
		「 <input checked="" type="checkbox"/> 非表示」オプションを追加しました。 ON = 他伝票では参照時に表示しない。表示したくない見積書を削除せずに使用不可にします。
		見積書の明細入力画面とExcel間で、直接コピー&貼付ができるようにしました。 (行複、行貼機能の動きが、クリップボードを使った動きに変わります。
		「 <input checked="" type="checkbox"/> 非表示」オプションを追加しました。 ON = 他伝票では参照時に表示しない。表示したくない見積書を削除せずに使用不可にします。
		見積書の明細入力画面とExcel間で、直接コピー&貼付ができるようにしました。 (行複、行貼機能の動きが、クリップボードを使った動きに変わります。
111	見積書 印刷様式	新様式「見積書 2頁目以降表題無(A4横)」を追加しました。
112	見積書 工事へ複写	「 <input checked="" type="checkbox"/> 見積番号を工事コードに複写する」オプションを追加しました。
113		発注へ複写完了後、作成した発注書を開く機能を追加しました。
114	見積書 発注へ複写	発注へ複写にオプションを追加しました。 *ヘッダ部の条件 『見積書の「担当」を複写する』 『見積書から複写した工事のコードを複写する』 *明細部の条件 『見積書の「部門」を複写する』
		「 <input checked="" type="checkbox"/> 行属性「メモ」も複写する」オプションを追加しました。 ON = 行属性で「メモ」を選択している明細行も発注書へ複写します。
		「 <input checked="" type="checkbox"/> 行属性「摘要」も複写する」オプションを追加しました。 ON = 行属性で「摘要」を選択している明細行も発注書へ複写します。
		「 <input checked="" type="checkbox"/> 行属性「メモ」も複写する」オプションを追加しました。 ON = 行属性で「メモ」を選択している明細行も発注書へ複写します。
		「 <input checked="" type="checkbox"/> 行属性「摘要」も複写する」オプションを追加しました。 ON = 行属性で「摘要」を選択している明細行も発注書へ複写します。
115	見積書 売上へ複写	売上へ複写にオプションを追加しました。 ヘッダ部の条件……『見積書の「担当」を複写する』 明細部の条件 ……『見積書の「部門」を複写する』
		複写対象に「大分類/中分類/小分類/細分類」を追加しました。 選択した分類毎の金額を売上傳票の明細として複写します。
		「 <input checked="" type="checkbox"/> 「見印無」の明細も複写する」「 <input checked="" type="checkbox"/> 「実印無」の明細も複写する」「 <input checked="" type="checkbox"/> 「全印無」の明細も複写する」オプションを追加しました。 ON = 明細入力にて「見印無」「実印無」「全印無」を選択した明細行も売上傳票へ複写します。
		「 <input checked="" type="checkbox"/> 商品階層の行属性「摘要」も複写する」オプションを追加しました。 ON = 明細入力にて行属性「摘要」を選択した明細行も売上傳票へ複写します。
		「 <input checked="" type="checkbox"/> 商品階層の行属性「摘要」も複写する」オプションを追加しました。 ON = 明細入力にて行属性「摘要」を選択した明細行も売上傳票へ複写します。
117	工事登録	工事コード桁数:4~10字+(枝番)2字
		坪/m計算設定、実行予算 登録形式初期値の設定ができるようにしました。
		工事コードの開始番号を随時指定して自動番号とすることが可能にしました。
		入力項目に『グループ』を追加しました。 桁数:半角10字 追加に伴い下記処理にもグループが追加されました。 ○工事台帳印刷 ○工事登録一覧画面及び印刷 ○集計条件画面内の工事検索画面の条件項目 ○工事一覧表集計結果及び印刷
		新規登録時に、前回登録時の受注区分を自動セットするようにしました。
		「進捗率自動計算」ボタンを追加しました。機能は「進捗率自動計算」と同等です。
		入力設定に「見積番号 <input checked="" type="checkbox"/> 参照入力を可能にする」オプションを追加しました。 *見積番号以外の項目(請負金額、実行予算、担当)は複写されません。
		工事登録一覧画面にて、台帳形式の一括Excel書出ができるようにしました。
		入力設定に「集計区分」を追加しました。実行予算の消費税計算方法を選択します。 工事登録と同じ:工事登録の「集計区分」に従います。 税抜に固定:税抜表示に固定します。 税込に固定:税込表示に固定します。
		入力設定に「項目設定」を追加しました。
		入力設定に「予算入力初期値」を追加しました。 実行予算画面の予算項目の表示初期値を「すべて」「当初予算」「実行予算」から選択します。

119	工事登録	<p>検索画面から出力する工事リストにExcel書出用項目を追加しました。 「**工事略称」「**得意先名称1」「**得意先名称2」「**工事担当コード」「**工事担当名」 「**営業担当コード」「**営業担当名」「**明細工事担当コード」「**明細工事担当名」 「**明細営業担当コード」「**明細営業担当名」</p> <p>「消費税率」を追加しました。受注日より税率を自動セットします。 セットされた税率は変更可能です。</p>
120	工事登録 工事経歴書	種類に「290:解体」を追加しました。
121	工事登録 実行予算	<p>「F9削除」「行削除」の内容を変更しました。 F9削除:現在表示している実行予算の内容を全て削除する 行削除:選択中の行を削除する</p>
122	工事登録 実行予算	<p>実行予算の登録形式を2種類追加しました。 ◎工種別仕入先毎:実行予算を工種別仕入先毎に登録 ◎仕入先別工種毎:実行予算を仕入先毎工種別に登録</p> <p>「<input checked="" type="checkbox"/>予定利益表示」オプションを追加しました。 ON=予定利益、予定利益率を表示します。 OFF=予定利益、予定利益率を表示しません。</p>
123	工事登録 実行予算	<p>原価モニターに「予算残」を追加しました。 「利益」と「予算残」は切り替えをすることで表示が可能です。 原価モニターに「表示項目」ボタンを追加しました。 原価モニターに「予算-発注」を追加しました。 原価モニターにExcel書出用項目を追加しました。 「**当初予算」「**M当初予算」</p>
124	工事登録 入金情報	入金予定の登録が可能になりました。
126	工事登録 関連ファイル	関連ファイルが登録されている場合、ボタンの表示が「関連ファイル有」と変わるようにしました。
128	売上伝票自動作成	<p>「<input checked="" type="checkbox"/>得意先に主売上科目が設定されている場合は優先する」オプションを追加しました。 売上担当の複写設定を追加しました。</p>
129	発注書	<p>商品在庫確認機能を追加しました。 選択中の明細行に入力されている商品の在庫数、発注残の確認が可能です。 新規作成時に「印刷」ボタンをクリック後、登録する・しないの選択が可能になりました。 新規作成時に、備考欄2行に初期表示する文字が設定することが可能になりました。</p>
129	発注書	<p>「入荷情報確認」ボタンを追加しました。 選択している明細行の商品について、仕入日、数量、金額などの入荷情報が確認できます。 Excel書出用項目を追加しました。 「**仕入先メモ」「**仕入先グループ」「**工事担当コード」「**工事担当名」 「**営業担当コード」「**営業担当名」「**第2区分」「**明細工事正式名称」</p>
130		<p>ヘッダ部 工事名の直接入力が可能になりました。 「税端数調整」機能を追加しました。</p>
131		<p>合計部に「残数量(残金額)」を追加しました。 残管理の設定によって、残数量または残金額の合計が確認できます。</p>
132	発注書 仕入へ複写	<p>入力設定 項目設定の明細部に「No」を追加しました。 「入力」「移動」どちらもチェックOFFの場合は非表示となります。</p>
135		<p>仕入伝票へ複写している場合でも、完納扱いにすることが可能になりました。 仕入伝票への複写後、完成工事が含まれている場合に確認メッセージを出すようにしました。</p>
136	仕入伝票	<p>「F4支払」ボタンが仕入伝票新規入力画面でも使えるようにしました。(同時支払) 仕入伝票工事入力形式で「立替金」科目が使用できるようにしました。</p>
137	仕入伝票	<p>「税端数調整」機能を追加しました。 「工事入力形式」を追加しました。 ※1伝票で工事をキーにし、複数仕入先に対する入力が可能です。 工事入力形式の場合でも支払へ複写できるようにしました。</p>
139		<p>入力設定に「<input checked="" type="checkbox"/>立替先名を明細の摘要にセットする」オプションを追加しました。 ON=「科目」欄に「立替金」を入力し、立替先を入力した際、摘要に仕入先名称1を自動セットします。</p>
142		<p>ヘッダ部に工事の入力項目を追加しました。 <input checked="" type="checkbox"/>明細で工事を入力する」オプションを追加しました。 時間入力できるようにしました。設定は従業員マスタの勤怠項目設定で行います。 「メモ」ボタンを追加しました。</p>
143	出面書	<p>勤怠項目を10個対応にしました。 SET 項目6:予備1、項目7:予備2、項目8:予備3、項目9:予備4、項目10:予備5</p>
147	支払査定	<p>出力設定に「<input checked="" type="checkbox"/>立替金で入力した仕入を分けて集計する」オプションを追加しました。 レ=査定方式が「仕入先別工事毎」「仕入先別工事毎工種毎」の場合、立替金科目で登録した仕入伝票を区別して、工事別の集計表で集計しないようにする。 □=立替金科目の仕入伝票を、通常の科目の仕入伝票と同様に処理する。 「全項目入力可」で支払日が変更可能になりました。</p>
148	支払査定表	<p>明細部に「立替」を追加しました。 出力設定の「<input checked="" type="checkbox"/>立替金で入力した仕入を分けて集計する」がONの場合、仕入伝票を立替金科目で入力した仕入先にチェックが入る。</p>

150	区分別支払予定表	「手数料負担区分」を追加しました。 区分別支払予定表内で手数料負担区分を「当方負担」「先方負担」から選択できるようにしました。
152	FB作成	『 <input checked="" type="checkbox"/> 手形交換所番号項目に「0000」を出力する』オプションを追加しました。 OFFの場合は半角スペースを出力します。どちらを使用するかは銀行にご確認下さい。 [F11印刷]ボタンを追加しました。FBデータ出力リストが出力できます。
153	支払通知書	印刷時「TEXT書出」が選択できるようにしました。 Excel書出に対応しました。
153	支払通知書	Excel書出用項目を追加しました。 「**口座名義」「**口座名義フリガナ」「**仕入先備考」
158	支払査定作成伝票	区分別支払予定表→支払伝票作成画面で部門をより細かく設定できるようにしました。
161	売上伝票	「F4入金」ボタンが売上傳票新規入力画面でも使えるようにしました。(同時入金) Excel書出用項目を追加しました。 「**着工日実施」「**竣工日実施」「**引渡日実施」「**明細部門コード」「**明細部門名」 「**見積番号上段」「**見積番号中段」「**見積番号下段」
162	売上伝票	「税端数調整」機能を追加しました。 登録時、売上傳票の消費税率と工事受注の消費税率が不一致の場合、確認メッセージを表示するようにしました。 「宛先」ボタンを追加しました。 入力した内容を売上傳票の印刷時に得意先情報として出力します。 宛先が未入力の場合は得意先に登録した内容を出力します。 宛先の情報は伝票毎に保存されます。
164		新規作成時に「印刷」ボタンをクリックすると登録する・しないの選択が可能になりました。 入力設定に「一式」を表示する設定を追加しました。 工事コード入力時、1行目に未売上額を表示する場合に数量「1」 単位「式」の設定ができるようにしました。
176	工事別支払集計	新集計表「工事別支払集計」を追加しました。 ●仕入先別支払集計表 ●仕入先別工事支払集計表 ●工事別仕入先集計表 ●仕入先別工事毎仕入先支払集計表
177	工事集計表	小計の出力が可能な出力順の場合に、「小計のみ出力する」を追加しました。 <工事一覧、工事原価明細のみ> 『 <input checked="" type="checkbox"/> 工事グループを合算する』オプションを追加しました。 「改ページする」オプションを追加しました。
179	工事原価明細	集計条件-詳細に『 <input checked="" type="checkbox"/> 売上・入金を表示しない』オプションを追加しました。 集計条件-詳細に『 <input checked="" type="checkbox"/> 締日毎に月計を出力する』オプションを追加しました。 工事原価明細書の印刷に「売上-原価」「入金-原価」を追加しました。 工事原価仕入先集計表に『 <input checked="" type="checkbox"/> 繰越を出力する』『 <input checked="" type="checkbox"/> 末日で月計を出力する』『 <input checked="" type="checkbox"/> 締日で月計を出力する』オプションを追加しました。 集計条件-詳細に『 <input checked="" type="checkbox"/> 売上は税込で出力する』オプションを追加しました。 ON=税込売上金額を出力します。 OFF=税抜売上金額を出力します。 集計条件-詳細に利益の設定オプションを追加しました。 Excel書出用項目を追加しました。 「*詳細メモ」「*工事グループ」
180	工種・仕入先予算実績	新帳票「工種別仕入先合計予算実績表」「仕入先別工種合計予算実績表」を追加しました。
181	工種・仕入先原価推移	集計条件-詳細に『 <input checked="" type="checkbox"/> 売上推移行を印刷する』オプションを追加しました。 新帳票「仕入先別工事原価推移表」「仕入先別工種合計原価推移表」を追加しました。 Excel書出用項目を追加しました。 「**工事正式名称」 条件入力に『 <input checked="" type="checkbox"/> 工事のグループで合算する』オプションを追加しました。 ON=同じグループの工事をひとつの工事として合算集計します。 <工種・仕入先原価推移、工事別売上原価推移のみ> 「毎月__日締で集計する」を追加しました。 各種推移表に指定した締日での月ごとの合計を出力します。 工種別仕入先原価推移表にExcel書出用項目を追加しました。 「**得意先正式名1」「**得意先正式名2」「**得意先住所1」「**得意先住所2」「**得意先TEL」「**得意先FAX」「**得意先締日」「**元請会社」
181	工事別仕入先集計	印刷オプションに『 <input checked="" type="checkbox"/> 仕入先毎に改ページする』オプションを追加しました。 ON=仕入先毎に改ページします。 工事別仕入先集計にExcel書出用項目を追加しました。 「**工事正式名」「**工事場所」
181	工事別支払集計	仕入先別工事支払集計表、工事別仕入先支払集計表にExcel書出用項目を追加しました。 「**税抜請負金額」「**請負消費税」「**税込請負金額」

182	工事一覧	新帳票「工事一覧表 簡易」を追加しました。
		<工事一覧、工事一覧表簡易のみ> 「出力順1」「出力順2」以下の項目を追加しました。 ●請負金額 ●売上金額 ●利益率
		<工事一覧表簡易のみ> 集計条件-詳細「利益」の計算方法が下記より選択可能にしました。 ●「利益=請負金額-原価」 ●「利益=出来高-原価」 ●「利益=売上-原価」 ●「利益=入金-原価(税込)」
		集計条件-詳細「未収金額がある工事のみ出力する」の未収金額を下記より選択可能にしました。 ●「未収金額=請負金額-入金額」 ●「未収金額=売上金額合計-入金額」
		工事一覧表の集計結果画面に表示項目設定機能を追加しました。 [表示項目]ボタンをクリックすると「表示項目設定」が開きます。
182	工事一覧	工事一覧表にExcel書出用項目を追加しました。 「**得意先名称1」「**得意先名称2」「**得意先郵便番号」「**得意先TEL」「**得意先FAX」 「**得意先担当者」「**得意先部署名」「**得意先役職名」「**得意先敬称」
		集計条件-絞込に「未売上額」を追加しました。 未売上額の計算式を「税込請負金額-税込売上金額」「税抜請負金額-税抜売上金額」から選択できるようにしました。
182	工事別収支一覧	「 <input checked="" type="checkbox"/> 期間中取引のある工事のみ出力する」オプションを追加しました。 各集計表にExcel書出用項目を追加しました。 「**M工事備考1」「**M工事備考2」「**M工事備考3」
183	出面集計	<従業員別日付順明細表、従業員別工事集計表、従業員別日次推移表のみ> 印刷ダイアログに「 <input checked="" type="checkbox"/> 従業員毎に改頁する」オプションを追加しました。
		<工事別日付順明細表、工事別従業員集計表、工事別職種集計表、工事別日次推移表のみ> 印刷ダイアログに「 <input checked="" type="checkbox"/> 工事毎に改頁する」オプションを追加しました。
		<従業員別日時推移表、工事別日時推移表のみ> Excel書き出しに対応しました。
		従業員別日付順明細表、従業員別集計表にExcel書出用項目を追加しました。 「**従業員単価1~10」「**出面書単価1~10」
184	工事経歴書	集計結果画面に[全て選択]ボタンを追加しました。
		Excel書出に対応しました。
		経営審査事項を申請する・しないに関わらず、完成工事の出力件数を指定できるようにしました。 集計条件-絞込に「工事分類1~3」を追加しました。
188	管理集計表	(支払予定・実績 支払実績表、入金予定・実績 入金実績表、月別得意先入金予定実績表のみ) 「 <input checked="" type="checkbox"/> 諸口を出力する」オプションを追加しました。 集計結果に諸口科目で入力した支払(又は仕入)を出力します。
		「改ページする」オプションを追加しました。
		新帳票「消費税集計表」を追加しました。 指定期間内の売上・仕入の税抜金額、消費税額を税区分別消費税率毎に集計します。
		新帳票「決算集計」を追加しました。 指定期間内の未成工事受入金、未成工事支出金を科目毎、または工事毎に集計します。 詳細→P.44「●決算集計●」
190	入金予定・実績	仕入先別工事支払予定表にExcel書出用項目を追加しました。 「**得意先名」
		新帳票「月別得意先入金予定実績表(A4横)」「月別得意先別工事入金予定実績表」を追加しました。 指定期間から1年間の得意先別(工事毎)入金予定と実績を、月ごとに表示します。
		出力基準を追加しました。下記のいずれかを選択して下さい。 入金予定日(伝票):売上伝票、入金伝票振替形式で登録した入金予定日と金額で集計 入金予定日(工事):工事登録の入金情報で登録した予定日と入金予定額で集計
		(得意先別入金予定表、得意先別工事入金予定表のみ) 集計条件-詳細に「 <input checked="" type="checkbox"/> 得意先の会社銀行を表示する」オプションを追加しました。
		月別得意先別工事入金予定実績表にExcel書出用項目を追加しました。 「**竣工予定日」「**税込請負金額」
191	発注・仕入明細	ズーム対象の選択機能を追加しました。
		「表示項目」ボタンを追加しました。
		集計条件に「仕入日」を追加しました。
		Excel書出用項目を追加しました。 「**発注見積番号」「**仕入見積番号」
192	商品集計	商品ファイルの絞込方法を変更しました。
199	請求明細書	集計条件-出力設定に「 <input checked="" type="checkbox"/> 入金合計行を表示する」オプションを追加しました。 繰越額を表示する場合は必須項目です。
		保存済み請求明細書の選択出力機能を追加しました。 請求明細書にExcel書出用項目を追加しました。 「**工事概要」「**税抜今回御買上額」「**税込今回御買上額」「**項目名登録番号」 「**登録番号」「**科目名」「**科目コード」「**フッタ項目名登録番号」「**フッタ登録番号」

200	請求明細書 出力設定	詳細タブに「 <input checked="" type="checkbox"/> 税率を印刷する」オプションを追加しました。
		「 <input checked="" type="checkbox"/> 期間中伝票がある得意先は今回請求額が0円でも印刷する」オプションを追加しました。 ON = 請求書に金額0円の明細を出力する。 OFF = 金額0円の明細を出力しない。
		《10%消費税制改正対応》 適格請求書等保存方式(インボイス)に対応する項目を追加しました。 ・「 <input type="checkbox"/> 税率毎の消費税額を表示する」 <input checked="" type="checkbox"/> = 印刷時、明細に税率毎の消費税額を出力する。 ・「 <input type="checkbox"/> 税率毎の本体金額を表示する」 <input checked="" type="checkbox"/> = 印刷時、明細に税率毎の本体金額を出力する。
201	検収内訳書	Excel書出機能に対応しました。 仕入先選択画面、検収内訳書画面に「税抜金額/消費税/合計金額」を追加しました。
		Excel書出用項目を追加しました。 「**仕入先名称1」「**仕入先名称2」「**仕入先略称」「**仕入先担当者」「**仕入先敬称」 「**仕入先郵便番号」「**仕入先住所1」「**仕入先住所2」「**仕入先TEL」「**仕入先FAX」 「**仕入先部署名」「**仕入先役職名」
205	入力リスト	「見積書 入力リスト」の入力リスト画面に[F10 Excel]ボタンを追加しました。 Excel書出が可能になりました。
		合計表示、表示項目機能、Excel書出機能に対応しました。 発注書の絞込条件に「納期」を追加しました。
206	管理グラフ	比較グラフ・推移グラフでの工事の集計方法が変わりました。 「工事」項目がなくなりました。
211	商品単価一括変更	「税込単価変更(税率変更時)」を追加しました。
213	特殊コード変更	一部資料で工事「その他」を集計対象外に設定できるようにしました。
215	一括処理	「一括仕入」「伝票一括承認」機能を追加しました。
		「一括仕入」「伝票一括承認」の排他処理を緩和しました。 一括処理の対象外の伝票を使っている時は、一括処理が実行できるようにしました。
		「一括仕入」の仕入条件に「支払予定日 <input type="checkbox"/> 仕入先の支払条件から計算する」を追加しました。
		「伝票一括承認」の検索条件に「入荷区分」を追加しました。
		「工事一括承認」機能を追加しました。
215		「商品ファイル一括整理」機能を追加しました。
215		「伝票工事コード一括置換」機能を追加しました。 登録伝票内の工事コードを一括で置き換えます。
215		仕入伝票の絞込項目(仮伝票、第2区分、スタンプ、承認)を追加しました。
216	配賦	「 <input checked="" type="checkbox"/> 税区分毎に配賦する」オプションを追加しました。 ON = 配賦画面の配賦金額を、工事別税区分毎に計算します。 OFF = 配賦画面の配賦金額を、工事別に計算します。
218		「 <input checked="" type="checkbox"/> 消費税を計算する」オプションに詳細設定を追加しました。 配賦先の設定に従う = 配賦画面にて設定した税計算と消費税率で消費税を再計算します。 再計算により消費税額が変わる可能性があります。 配賦元の消費税に従う = 配賦元の消費税額を各工事に配分します。
221	現場日報連動 工事データ出力	工事データの自動登録機能を追加しました。 工事登録時や工事データ出力の実行時に工事データを自動登録します。

●業種選択●

<概要>

建設業以外の業種向けに名称設定を切り替える機能を追加しました。

- ①メインメニューのメニューバー_ファイル[業種選択]をクリックします。
- ②右の画面が開きます。業種を選択して「OK」ボタンをクリックすると画面が切り替わります。

◆業種選択は下の8種類になります。

建設	ソフトウェア開発
個別受注型製造	コンサルタント
イベント・番組製作	婚礼
広告・デザイン・印刷	葬祭



●メニュー色選択●

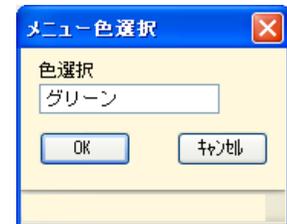
<概要>

アイコンメニューのテーマ色を切り替える機能を追加しました。

- ①メインメニューのメニューバー_ファイル[メニュー色選択]をクリックします。
- ②右の画面が開きます。色を選択して「OK」ボタンをクリックすると画面が切り替わります。

◆メニュー色選択は下の8種類になります。

グリーン	ブルー
ブラウン	ディープブルー
オレンジ	ピンク
レッド	パープル



●直前伝票参照●

<概要>

直前伝票参照で各項目の絞込表示が可能になりました。

伝票番号欄・日付欄で参照すると右のように表示されます。

- ・項目名をクリックすると並べ替えが可能です。
- ・各項目の下の緑色の欄に文字列を入力すると部分検索が可能です。



<概要>

発注書・売上伝票の直前伝票参照に表示項目「担当」を追加しました。



<概要>

見積書の直前伝票参照に表示項目「担当」「部門」を追加しました。



●Excel書出●

<概要>

Excelテンプレートの保存場所を任意の場所に設定できるようにしました。
※サーバーの共有フォルダ等を設定可能です。
また、一部伝票、帳票に[印刷]・[プレビュー]ボタンを追加しました。

【対応伝票・帳票】

見積書・発注書・売上伝票・請求明細書・工事一覧・工事原価明細書
Excel書出の操作方法につきましては、操作マニュアルP.48をご参照下さい。

◆Excelテンプレートの保存場所について

- ①各画面の「F10Excel」ボタンをクリックすると、右の画面のようにExcel書出画面が開きます。
- ②テンプレートファイルの右側にある[...]ボタンをクリックします。
- ③右の画面のようにフォルダ参照画面が開きます。
テンプレートの保存場所を指定して「OK」ボタンをクリックして下さい。
- ④Excel書出画面に戻ります。「実行」を選ぶと書出を実行します。

◆テンプレートの共有方法

- ・テンプレート作成時に共有場所へテンプレートを保存して下さい。
- ・テンプレートを選択する場合は[...]ボタンを押し、テンプレートが保存されている場所を指定して下さい。
- ・次回起動時は、直前に指定した場所が表示されます。

◆印刷・プレビューの注意点

※ExcelがインストールされていないPCでも使用可能です。

【印刷】

お使いのパソコンにExcelがインストールされていない場合、テンプレートの設計と印刷がずれる場合があります。

【プレビュー】

プレビューと実際の印刷結果が異なる場合があります。印刷結果に合わせて余白等調整して下さい。



●スタンプ名称設定●

<概要>

見積書・工事登録・各種伝票のスタンプ名称を別々に設定可能になりました。

- ①メインメニュー[台帳]→環境設定[運用設定]をクリックします。
- ②右画面でスタンプの名称を変更して下さい。



●台帳 環境設定●

<概要>

環境設定の得意先初期値/仕入先初期値に税計算を追加しました。
得意先/仕入先マスタ、各伝票ごとの税計算の初期値が設定可能になりました。

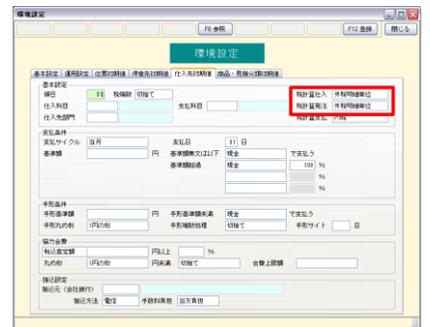
■得意先

項目名	内容
税計算売上	得意先マスタ 税計算売上、売上伝票の初期値を登録。 内税/外税明細単位/外税伝票計/別記から選択。
税計算入金	得意先マスタ 税計算入金、入金伝票の初期値を登録。 内税/別記から選択。



■仕入先

項目名	内容
税計算発注	仕入先マスタ 税計算発注、発注伝票の初期値を登録。 内税/外税明細単位/外税伝票計/別記から選択。
税計算仕入	仕入先マスタ 税計算仕入、仕入伝票の初期値を登録。 内税/外税明細単位/外税伝票計/別記から選択。
税計算支払	仕入先マスタ 税計算支払、支払伝票の初期値を登録。 内税/別記



●台帳 得意先・仕入先●

<概要>

台帳 得意先、仕入先画面で書式設定 書式データの設定が可能になりました。
データ1~10から選択できます。また、書式データを指定しない場合は「指定なし」を選択して下さい。

得意先マスタ:「見積書表紙1」「見積書表紙2」
「売上伝票」「請求明細書」

仕入先マスタ:「発注書」

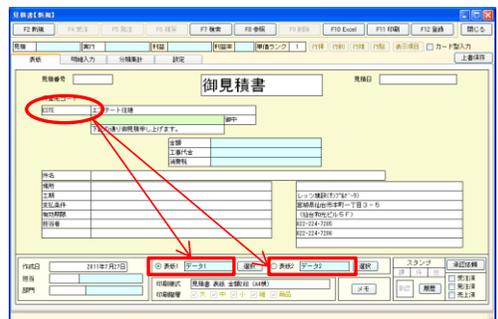


【見積書】

得意先参照時に「表紙1」「表紙2」の書式データを自動セットします。

【参考】

書式データを指定しない場合は、台帳 得意先の印刷書式で「指定なし」を選択して下さい。



【発注書・売上伝票】

発注書または売上伝票の印刷条件設定の書式データに台帳 仕入先(得意先)の印刷書式で設定した書式データを初期表示します。
書式データの変更は可能です。

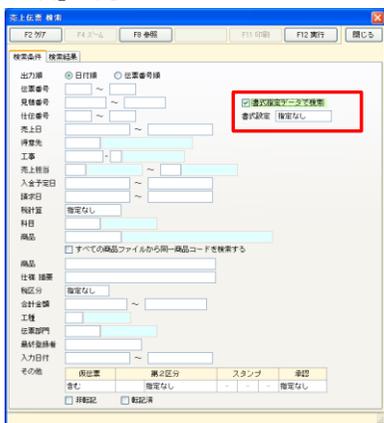
参考

書式データを指定しない場合は、台帳 仕入先(得意先)の印刷書式で「指定なし」を選択して下さい。

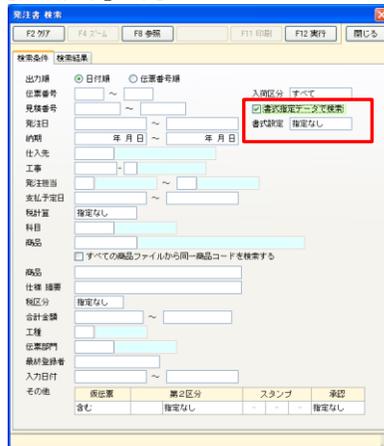


発注書、売上伝票の検索画面に「書式指定データで検索」オプションを追加しました。

【発注書 検索】



【売上伝票 検索】



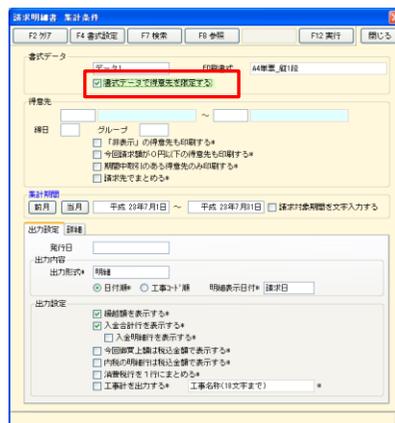
注意

連続印刷の場合は、「F11印刷」ボタンをクリックすると印刷書式設定画面が開きます。
その画面で書式データを設定して下さい。

【請求明細書】

請求明細書の条件画面に「書式データで得意先を限定する」オプションを追加しました。

チェックON : 指定書式データの得意先のみ集計する



●台帳 得意先/仕入先●

<概要>

得意先マスタ/仕入先マスタに税計算を追加しました。
得意先、仕入先ごとに税計算が設定可能になりました。

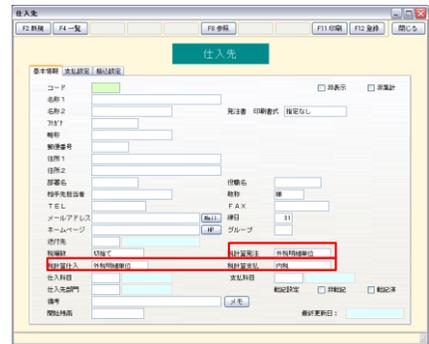
■得意先

税計算売上	売上伝票の「税計算」初期値を得意先ごとに登録。 内税/外税明細単位/外税伝票計/別記から選択。
税計算入金	入金伝票の「税計算」初期値を得意先ごとに登録。 内税/別記から選択。



■仕入先

税計算発注	発注伝票の「税計算」初期値を仕入先ごとに登録。 内税/外税明細単位/外税伝票計/別記から選択。
税計算仕入	仕入伝票の「税計算」初期値を仕入先ごとに登録。 内税/外税明細単位/外税伝票計/別記から選択。
税計算支払	支払伝票の「税計算」初期値を仕入先ごとに登録。 内税/別記から選択。



●台帳 従業員●

<概要>

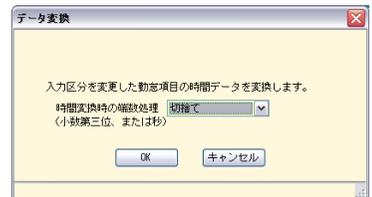
出面書の時間入力が可能になりました。
設定は従業員マスタの勤怠項目設定から行います。

①メインメニュー[台帳]→従業員をクリックします。
従業員マスタ画面の[勤怠項目設定]ボタンをクリックして下さい。

②右画面が開きます。
入力区分で60進法を選択して[OK]をクリックください。

参考

60進法を選択した項目の名称は黄字で表示します。(10進法は白)



③入力方法を変更すると、登録済出面書データの時間データを変換
します。金額は変換されません。
変換時の端数処理を設定して[OK]をクリックして下さい。

◆データ変換について

【10進法→60進法へ変換】

整数を「時間」、小数点以下を「分」に変換します。

例)10進法	60進法
0.75	0:45(0時間45分)
2.25	2:15(2時間15分)
3.5	3:30(3時間30分)

【60進法→10進法へ変換】

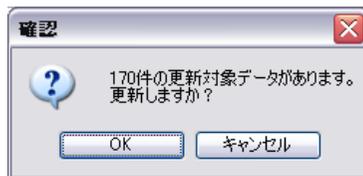
「時間」を整数、「分」を小数点以下に変換します。

例)60進法	10進法
0:45	0.75(0時間45分)
2:15	2.25(2時間15分)
3:30	3.5(3時間30分)

- ④更新する対象データの件数と確認のメッセージが表示されます。
実行する場合は[OK]をクリックして下さい。

注意

「日」や「回数」単位で入力している場合は、60進入力を使用しないでください。



●見積番号設定●

<概要>

見積番号の桁数、枝番、連番方式の設定が可能になりました。

◆メインメニュー[台帳]→見積基本設定をクリックします。

【見積番号桁数制限】

ここで指定した桁数を超える見積番号は登録できなくなります。

- ・桁数は4～10桁の間で設定可能です。(枝番は2桁固定です)
- ・登録済みの見積番号は、桁数を超えていてもそのまま使用できます。

【枝番を使用する】

- ・工事コードと同様に枝番を使用する場合は、「枝番を使用する」のチェックをONにして下さい。

【連番方式】

担当・部門の連番は、コードを先頭に付けた番号になります。

※開始番号が空の場合、連番機能は有効になりません。

開始番号は、[見積書]-[編集]-[連番設定]で設定できます。

指定なし:連番の左側を有効桁数まで0で埋めて登録します。

例)連番設定で「1」を入力:見積Noは「000000001」

担当 :担当コードを先頭に付けた連番

例)担当コード「tanto」、開始番号「1」の場合:「tanto00001」

部門 :部門コードを先頭に付けた連番

例)部門コード「bumon」、開始番号「1」の場合:「bumon00001」



●見積書_テキスト読込●

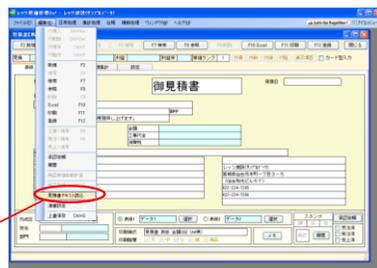
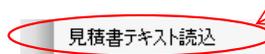
<概要>

見積書にテキスト読込機能を追加しました。

見積書の新規入力時に使用できます。

※単一の見積書データを読み込む場合にご利用下さい。

1. 見積書のメニューバー[編集]→見積書テキスト読込をクリックして下さい。



2. 右画面が開きます。ファイルを選択して[F12実行]ボタンをクリックして下さい。



●見積(明細) テキスト読込●

<概要>

テキスト読込の見積書(明細)にオプションを追加しました。

追加オプション

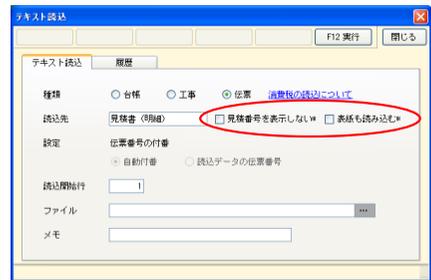
見積番号を表示しない

読み込んだデータを見積書に表示する際に見積番号を空白で表示します。

※見積書の登録に連番機能をご使用の場合はチェックを付けて下さい

表紙も読み込む

テキストデータ内の各見積書の最初の1行目を表紙情報として読み込みます。



■テキスト読込形式 見積書(表紙)

No	項目	必須	型	桁数	備考	空白の値
1	見積番号	◎	文字	10	見積書からの読み込み時はなくてもよい	
2	タイトル		文字	16		[書式設定(見積書)]
3	見積日		日付			
4	得意先コード		文字	8		
5	得意先名1		文字	40		
6	得意先名2		文字	24		
7	敬称		文字	4		[書式設定(見積書)]
8	案内文		文字	30		[書式設定(見積書)]
9	項目名1		文字	10		[書式設定(見積書)]
10	内容1		文字	70		
11	項目名2		文字	10		[書式設定(見積書)]
12	内容2		文字	40		
13	項目名3		文字	10		[書式設定(見積書)]
14	内容3		文字	40		[書式設定(見積書)]
15	項目名4		文字	10		[書式設定(見積書)]
16	内容4		文字	40		[書式設定(見積書)]
17	項目名5		文字	10		[書式設定(見積書)]
18	内容5		文字	40		[書式設定(見積書)]
19	項目名6		文字	10		[書式設定(見積書)]
20	内容6		文字	40		[書式設定(見積書)]
21	項目名7		文字	10		[書式設定(見積書)]
22	内容7		文字	40		[書式設定(見積書)]
23	自社情報1		文字	40		[書式設定(見積書)]
24	自社情報2		文字	30		[書式設定(見積書)]
25	自社情報3		文字	40		[書式設定(見積書)]
26	自社情報4		文字	40		[書式設定(見積書)]
27	自社情報5		文字	40		[書式設定(見積書)]
28	自社情報6		文字	40		[書式設定(見積書)]
29	自社情報7		文字	40		[書式設定(見積書)]
30	作成日		日付			読込日
31	担当コード		文字	4		
32	担当名		文字	14	読込時不要	
33	部門コード		文字	8		
34	部門名		文字	14	読込時不要	
35	スタンプ1		数字	1	0:OFF/1:ON	
36	スタンプ2		数字	1	0:OFF/1:ON	
37	スタンプ3		数字	1	0:OFF/1:ON	
38	承認		数字	1	0:OFF/1:ON	
39	受注		数字	1	0:OFF/1:ON	
40	発注		数字	1	0:OFF/1:ON	
41	売上		数字	1	0:OFF/1:ON	
42	税抜金額		数字	13	表紙金額を自動計算しない場合のみ読み込む	
43	消費税		数字	13	表紙金額を自動計算しない場合のみ読み込む	
44	税込金額		数字	13	表紙金額を自動計算しない場合のみ読み込む	
45	非表示		数字	1	0:OFF/1:ON	

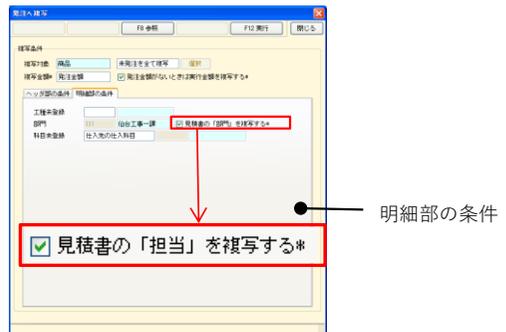
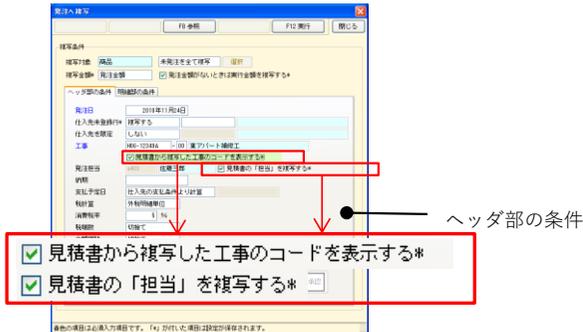
●見積から「発注へ複写」「売上へ複写」にオプション追加●

<概要>

「発注へ複写」「売上へ複写」の条件画面にオプションを追加しました。

◆追加オプション

ヘッダ部の条件画面に追加:見積書の「担当」を複写する
見積書から複写した工事のコードを複写する
明細部の条件画面に追加 :見積書の「部門」を複写する



●見積書 他見積書参照●

<概要>

一つの見積書を編集中に、登録済みの見積書を開き内容を参照することが出来ます。

1. 見積書の編集中に[F7検索] (又は[F8参照]) をクリックします。
2. [F7検索] をクリックした場合は、検索条件画面が開きます。条件を入力後に[F12実行] をクリックして下さい。
3. 右の画面がそれぞれ開きます。表示したい見積書を選択して[F5閲覧] (参照の場合は[閲覧]) ボタンをクリックして下さい。
4. 選択した見積書が閲覧モードで表示されます。内容の編集は出来ませんが、[行複] ボタンを使うことで編集中の見積書に内容をコピー ([行貼] ボタン) することが可能です。



検索

注意

- ・項目単位でのコピーは明細行ではできません。カード型の入力画面では[Ctrl+C]でコピーできます。
- ・閲覧モードでは複数の見積書を表示できます。



参照

●見積書 連番設定●

<概要>

見積書に担当・部門毎に連番できる機能を追加しました。

①メインメニュー[日常]→見積書→編集→連番設定をクリックします。

②連番設定画面が開きますので開始番号を入力してください。
その番号から連番が始まります。



注意

[担当・部門毎に連番設定する場合]

[台帳]→[見積基本設定][連番方式]で設定します。

※開始番号が空の場合、連番機能は有効になりません。

[連番の表示]

担当・部門の連番は、コードを先頭に付けた番号になります。

コードと開始番号をあわせた桁数が10桁に満たない場合は、間を0で埋めて登録します。

指定なし:連番の左側を有効桁数まで0で埋めて登録します。

例)連番設定で「1」を入力:見積Noは「000000001」

担当 :担当コードを先頭に付けた連番

例)担当コード「tanto」、開始番号「1」の場合:「tanto00001」

部門 :部門コードを先頭に付けた連番

例)部門コード「bumon」、開始番号「1」の場合:「bumon00001」

[連番の中止方法]

連番設定欄を空にして登録して下さい。

[登録済の見積番号がある場合]

連番がすでに使用済みの場合は、見積の登録時にエラーメッセージが表示されます。

連番設定で使用可能な番号を再設定してください。

[運用途中で担当・部門コードを変更した場合]

登録済みの見積番号は変更されません。

開始番号は担当・部門コードを変更した場合でも変更されることはありません。

●発注へ複写●

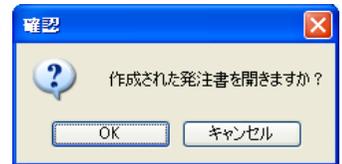
<概要>

発注へ複写完了後、作成した発注書を開く機能を追加しました。

※操作マニュアルP113の⑥を下記内容に変更します。

⑥完了すると右の画面が表示されます。

[OK]を選ぶと作成した発注書が表示されます。



●発注書 入力設定●

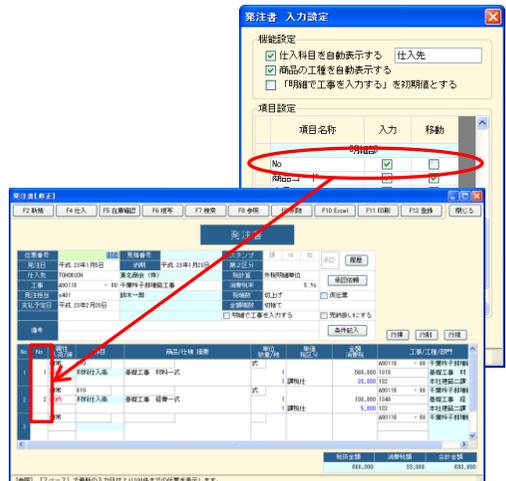
<概要>

入力設定 項目設定の明細部に「No」を追加しました。

※「入力」「移動」どちらもチェックOFFの場合は非表示となります。

◆メインメニュー[日常]→発注書→編集→入力設定をクリックします。

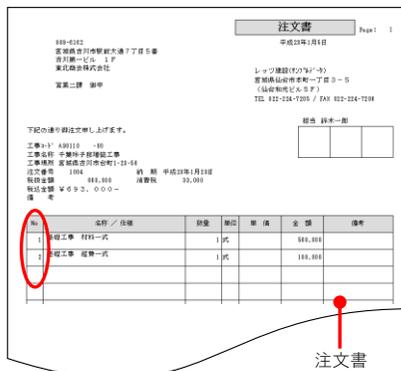
○入力したNoは、印刷条件設定の「□No出力あり」をチェックONにすると印刷されます。(次頁参照)



●発注書 印刷条件●

<概要>

印刷様式に「No出力あり」を追加しました。
 チェックONにすると、発注書で入力した「No」が印刷されます。



●発注書 備考設定●

<概要>

新規作成時に、備考欄2行に初期表示する文字を設定することが可能になりました。

①メインメニュー[日常]→発注書→編集→備考設定をクリックします。

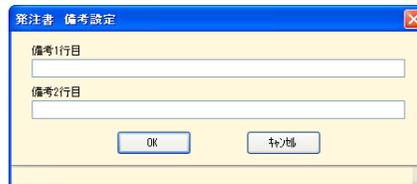
②右画面で備考を入力して[OK]をクリックして下さい。

次回新規作成時から表示されます。

◆全角30字×2行

注意

登録済みの伝票や複写伝票の備考欄へは、初期表示されません。



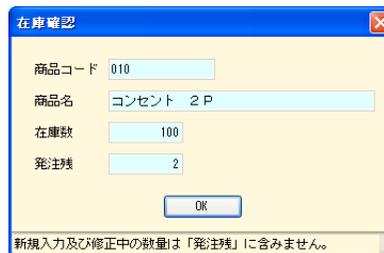
●発注書 在庫確認●

<概要>

発注書に商品在庫数確認機能を追加しました。
 選択中の明細行に入力されている商品の在庫数、発注残の確認が可能です。

○在庫確認したい商品を選択して、「F5在庫確認」をクリックして下さい。

右画面の在庫確認画面が開きます。



●工事登録 入力設定●

<概要>

工事登録に入力設定を追加しました。
 ここでは、坪と平米の計算設定や実行予算の登録形式初期値設定が可能です。

◆メインメニュー[日常]→工事登録→編集→入力設定をクリックします。

○坪と平米の計算設定

坪と㎡の計算方法を選択して下さい。

◎坪から㎡を自動計算する

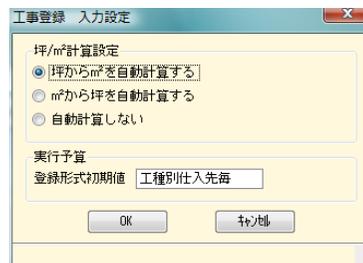
◎㎡から坪を自動計算する

◎自動計算しない

○実行予算の登録形式初期値設定

実行予算の登録形式初期値が設定できます。

「工種別仕入先毎」「仕入先別工種毎」「工種別」「仕入先別」から選択。



●工事登録 連番設定●

<概要>

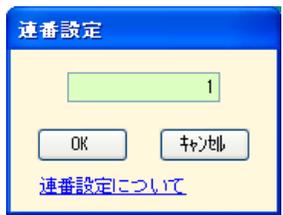
工事登録に連番設定を追加しました。

①メインメニュー-[日常]→工事登録→編集→連番設定をクリックします。

②連番設定画面が開きますので開始番号を入力してください。

その番号から連番が開始します。

設定可能範囲:0~9999999999



注意

[連番の表示]

連番の左側を有効桁数まで0で埋めて登録します。

例)連番設定で「1」を入力

登録時に設定されるコードは「0000000001-00」

[連番の中止方法]

連番設定欄を空にして登録

[登録済の工事コードがある場合]

連番がすでに使用済みの場合は、工事の登録時にエラーメッセージが表示されます。連番設定で使用可能な番号を再設定してください。



▲工事登録後の確認メッセージ

●実行予算登録 登録形式●

<概要>

実行予算の登録形式を2種類追加しました。

◆メインメニュー-[日常]→工事登録→実行予算をクリックします。

<追加形式>

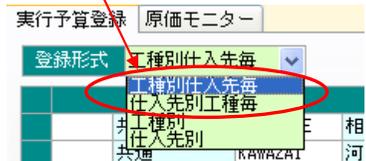
工種別仕入先毎	実行予算を工種別仕入先毎に登録
仕入先別工種毎	実行予算を仕入先別工種毎に登録



注意

工種には「共通」、仕入先には「その他」が自動で入ります。

(但し、他の登録形式で上記以外の値が入力済みの場合、その値が自動で入ります)



●実行予算登録 原価モニター●

<概要>

実行予算の原価モニターに「予算残」を追加しました。

◆メインメニュー-[日常]→工事登録→実行予算をクリックします。

利益/予算残で「利益」または「予算残」に切り替えてください。

計算方法:予算残=実行予算-原価

利益/予算残を切り替えると下記項目が切り替わります。

ヘッダ部 利益	⇔	ヘッダ部 予算残
明細 利益		明細 予算残

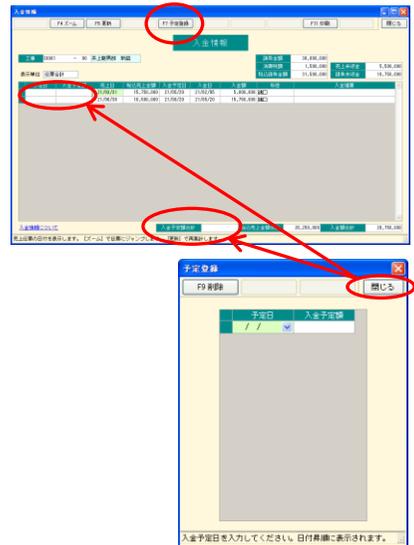


●入金情報へ機能追加●

<概要>

入金情報で入金予定の登録ができるようにしました。

- ①メインメニュー[日常]→工事登録→入金情報をクリックします。
- ②右画面が開きます。[F7予定登録]ボタンをクリックして下さい。
※右画面の「予定日」または「入金予定額」をダブルクリックしても「予定登録」画面を開くことができます。
- ③予定登録画面が開きますので「予定日」「入金予定額」を入力して下さい。入力後、[閉じる]ボタンをクリックすると前画面に戻り登録した内容が「予定日」「入金予定額」「入金予定額合計」に表示されます。



注意

「予定登録」で入力した日付の昇順で表示されます。

●売上伝票自動作成へオプション追加●

<概要>

売上伝票自動作成時、得意先マスタの主売上科目が設定されている場合はその科目を優先して登録するオプションを追加しました。また、「売上担当」の複写設定が可能にしました。

◆メインメニュー[日常]→工事登録→対象の工事を表示→編集→売上伝票自動作成をクリックします。

■「得意先に主売上科目が設定されている場合は優先する」チェックをONにすると得意先マスタに登録されている主売上科目が自動作成した売上伝票の科目に設定されます。

■売上担当

自動作成する売上伝票の売上担当の設定が下記から選択可能です。

指定なし	空白
営業担当を複写	工事登録 営業担当を設定
工事担当を複写	工事登録 工事担当を設定



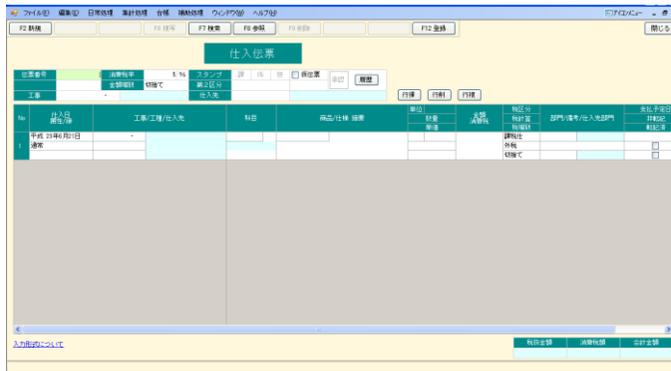
●仕入伝票 工事入力形式●

<概要>

仕入伝票に『工事入力形式』を追加しました。

1伝票で工事をキーにし、複数仕入先に対する入力が可能になりました。

※入力設定より入力形式の切替えが可能です。



■機能

ボタン/メニュー	機能
入力設定	メニューバー[編集]>[入力設定]で仕入伝票の入力に関する設定が可能。
履歴	伝票の登録、更新履歴を表示。
商品登録	明細部に入力した商品を台帳に登録。

■ヘッダ部

項目	内容	入力/設定方法
伝票番号	[環境設定(運用設定)]で入力の可不可、伝票番号の重複の可不可が設定可能。	半角6字
消費税率	消費税率を入力。《初期値》環境設定「伝票初期値」「消費税率」	0~99.99(%)
金額端数	金額が小数になる場合の端数処理計算方法を「切捨て」「切上げ」「四捨五入」から選択。 《初期値》環境設定「伝票初期値」「金額端数[仕入]」	▼選択
スタンプ	必要な場合に「課」「係」「担」などのスタンプを押す。 *スタンプの種類は[環境設定(運用設定)]「スタンプ」で設定。 *あとで検索が可能。	ON/OFF
第2区分	任意の分類を入力。	半角4字
<input type="checkbox"/> 仮伝票	<input checked="" type="checkbox"/> = 入力 that 未完了の伝票、確認が必要な伝票などの場合。	チェックON/OFF
承認	クリックすると確認メッセージ表示後、承認済みとなり、伝票の修正・削除が不可となる。 *承認権限のあるユーザーのみ操作が可能。	ON/OFF
工事	工事を入力。 *未入力の場合「その他」が登録される。	参照 工事
仕入先	仕入先コードを入力。	参照 仕入先

■明細

★=必須入力項目

項目	内容	入力/設定方法
No	自動表示	<入力不可>
仕入日★	入力の元となる納品書や請求書の日付を入力。 《初期値》[環境設定(伝票初期値)]でシステム日付/前回入力日付が選択可能。	年月日/▼カレンダー
属性	初期値は「通常」で通常そのまま仕入内容を登録するが、必要に応じて下記を選択。 摘要: 摘要を入力する場合に選択。 メモ: 摘要欄にメモを入力する場合に選択。 ※「摘要」[メモ]を選ぶと摘要欄以外は入力不可となる。	▼選択
締	「原価締」された工事が入力された行に「原価締」と表示。「原価締」と表示された行は原価科目入力や修正ができない。	《入力不可》
工事★	原価科目、仮払消費税は工事を選択して下さい。それ以外は「その他工事」となります。 原価締工事は選択できません。	参照 工事

工種	工種を入力。*空欄は「共通」扱い	参照 工種
仕入先	仕入先コードを入力。	参照 仕入先
科目★	科目コードを入力。入力設定で自動表示の設定が可能。 ※立替金を入力した場合、下に立替先登録欄が表示されるので、入力する。	参照 科目 ※科目=立替金の場合
商品	商品コードを入力。	参照 商品
仕様 摘要	上段に商品名、下段に仕様や摘要を入力。 《初期値》上段:商品(台帳)「商品」 下段:商品(台帳)「摘要」 *ここに登録した内容を[商品]に登録可能。	全角20字×2行 参照 摘要
単位	商品の単位を入力。 《初期値》[商品]「単位」	全角2字 参照 単位
数量	商品の数量を入力。 *返品の場合、マイナスで入力。	-9,999,999.9999~ 9,999,999.9999
単価	商品の単価を入力。 《初期値》[商品]「単価」 * [F8参照]で過去単価 スペースキーで単価情報が確認可能。	-9,999,999,999.99 ~9,999,999,999.99
金額	金額を入力。 《初期値》数量×単価	-9,999,999,999~ 9,999,999,999
消費税	消費税額を入力。 《初期値》金額×消費税率(ヘッダ部)	-999,999,999~ 999,999,999
税区分	初期値は「課税仕」(課税仕入)だが、必要に応じて下記を選択。 「非課仕(非課税仕入)」 「対象外」 「完課仕」 「課仕返」 「不明」	▼選択
税計算	「内税」「外税」「別記」より選択。 《初期値》[環境設定(伝票初期値)] 「税計算[仕入]」 ▼	▼選択
税端数	消費税の端数処理計算方法を「切捨て」「切上げ」「四捨五入」から選択。 《初期値》[仕入先(基本情報)] 「税端数」	▼選択
部門	部門を入力。「環境設定(運用設定)」 「□工事部門を伝票部門に自動登録する」にチェックがついている場合、工事登録で登録した「工事部門」が自動表示される。 *空欄:「全社」扱い	参照 部門
備考	明細行ごとに備考を必要に応じて入力。 *入力設定で「入力」「移動」どちらもOFFの場合非表示となる。	全角10字
仕入先部門	仕訳伝票転記で仕入伝票の貸方部門を別に出力したい場合に部門コードを入力。各集計表には関係しない。 《初期値》[仕入先(基本情報)] 「仕入先部門」 * [環境設定(運用設定)]の「□得意先・仕入先部門を使用する」がONの場合のみ入力可。	参照 部門
支払予定日	支払予定日を入力。 《初期値》[仕入先(基本情報)] 「締日」、[仕入先(支払設定)] 「支払サイクル」「支払日」をもとに仕入日から計算・発注書から複写した場合は発注書で入力した支払予定日。 *支払査定でこの日付に基づく集計が可能。	年月日/▼カレンダー
□非転記	レ=仕訳伝票転記の対象から除く。内部取引などの場合に使用。 《初期値》[仕入先(基本情報)] 「転記設定」	チェックON/OFF
□転記済	レ=財務会計ソフトへ転記済の工事。「仕訳伝票転記」で通常転記を行うと自動的にチェックがONになる。 *手動でON/OFF可能。ただしONにすると通常転記の対象外となる。	チェックON/OFF

■合計部

項目	内容	入力/設定方法
税抜金額	《表示》明細「金額(内税の場合、消費税額を引いた金額)」の計	入力不可
消費税額	《表示》「消費税」の計または「外税伝票計」の場合上記「税抜金額」×ヘッダ部「消費税率」	
合計金額	《表示》上記「税抜金額」「消費税額」の計	

● 出面書 ヘッドへ工事追加 ●

<概要>

出面書のヘッド部に工事を追加しました。
1工事1伝票で伝票を作成できます。

工事を明細ごとに登録したい場合は、「口明細を工事で入力する」のチェックをONにして下さい。
ヘッド部の工事は入力不可になり、明細の工事が入力可能になります。



● 出面書 時間入力 ●

<概要>

出面書の時間入力(60進法)が可能になりました。

参考

入力方法の変更は、従業員マスタの勤怠項目設定から行ってください。
60進法の入力項目の名称は黄色で表示します。(10進法は白)

◆ 入力方法について

10進法: 日数・回数・時間(15分単位)項目に使用します。
出面書の画面上では勤怠項目の文字色が「白」で表示されます。
例) 1時間 = 1.0 2時間45分 = 2.75
※ 時間入力の場合

60進法: 1分単位での管理が必要な時間項目に使用します。
出面書の画面上では勤怠項目の文字色が「黄色」で表示されます。
例) 1時間15分 = 01:15 2時間50分 = 02:50

注意

「日」や「回数」単位で入力している場合は、60進入力を使用しないでください

◆ テキスト読み込み形式について

10進法: 整数4桁、少数2桁まで入力できます。
未入力の場合はゼロとして読み込みされます。

60進法: 時間が4桁、分が2桁まで入力できます。
ゼロの場合は「00:00」と入力します。
未入力の場合はエラーになります。



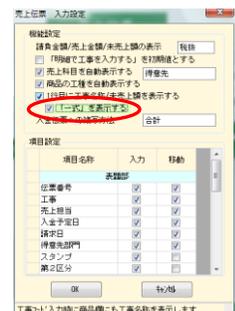
● 売上伝票 入力設定へ項目追加 ●

<概要>

売上伝票 入力設定に「一式」を表示する設定を追加しました。
工事コード入力時、明細1行目に未売上額を表示する場合、数量「1」、単位「式」を設定します。

① メインメニュー-[日常]→売上伝票→編集→入力設定をクリックします。

② 右の画面が開きます。「一式」を表示したい場合はチェックON、表示しない場合はチェックOFFにして下さい。



●発注書・仕入伝票・売上伝票「税端数調整」機能追加●

<概要>

「外税明細単位」の消費税を「外税伝票計」の消費税に合わせる機能です。

- ・税計算が「外税明細単位」の場合のみ使用できます
- ・最終行(課税)の消費税で自動調整します
- ・「税端数調整」を実行した場合はボタンの色がオレンジになります
- ・金額の変更が発生した場合はボタンの色がグレーに戻りますので、再度「税端数調整」をおこなってください



例)発注書
○実行前

税抜金額	消費税額	合計金額
506,920	25,345	532,265

「最終行(2行目)の消費税」調整前
76,826
3,841

○実行後

税抜金額	消費税額	合計金額
506,920	25,346	532,266

「最終行(2行目)の消費税」調整後
76,826
3,842

●工事条件指定●

<概要>

各集計表の条件指定で使用する、工事検索画面の絞込み条件を追加しました。

[追加条件]

- ①受注区分
- ②得意先
- ③工事部門
- ④営業担当
- ⑤工事担当
- ⑥工事分類1
- ⑦工事分類2
- ⑧工事分類3

※操作方法につきましては、操作マニュアルP.38をご参照下さい。



●工事集計表追加●

<概要>

「工事別支払集計」を追加しました。

◆メインメニュー[集計]→工事集計表→工事別支払集計をクリックします。

- 帳票
- 仕入先別支払集計表
 - 仕入先別工事支払集計表
 - 工事別仕入集計表
 - 仕入先別工種毎仕入先支払集計表

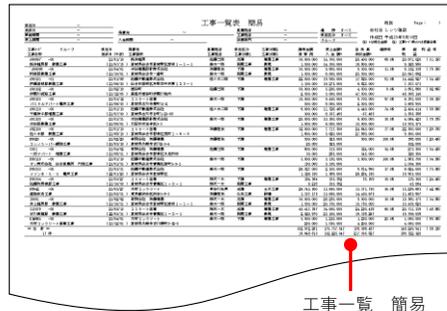
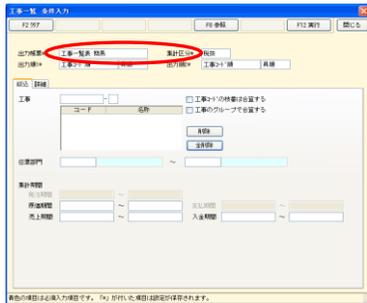


●工事一覧へ帳票追加●

<概要>

「工事一覧 簡易」を追加しました。

- ◆メインメニュー[集計]→工事集計表→工事一覧をクリックします。
- ※初期値と集計対象伝票につきましては、「工事一覧」と同じです。



工事一覧 簡易

●工事一覧表 オプション追加●

<概要>

小計の出力が可能な出力順の場合に、「小計のみ」出力ができる設定を追加しました。

- ①メインメニュー[集計]→工事集計表→工事一覧をクリックします。
- ②工事一覧表で明細、小計が出力可能な出力順を選択した場合のみ項目が右画面のように表示されます。
「明細のみ」「明細と小計を」「小計のみ」から選択して下さい。

◆小計が出力可能な出力順は以下の通りです。

営業担当順
工事担当順
得意先順
工事分類(1~3)順



工事一覧表_営業担当順_小計のみ

●工事一覧表 条件入力●

<概要>

工事一覧 条件入力の「未収金額がある工事のみ出力する」の未収金額を選択可能にしました。

- ①メインメニュー[集計]→工事集計表→工事一覧をクリックします。
- ②右の条件入力-詳細画面にある「未収金額がある工事のみ出力する」のチェックをONにすると未収金額が選択できます。
※工事一覧表のみ

◆未収金額は下記より選択

未収金額 = 請負金額 - 入金額
未収金額 = 売上金額合計 - 入金額



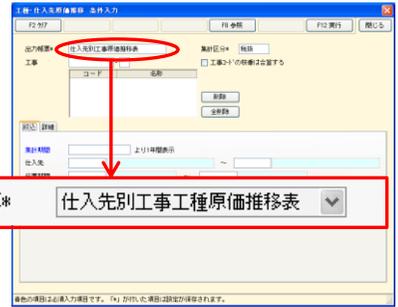
●工種・仕入先原価推移へ帳票追加●

<概要>

「仕入先別工事原価推移表」「仕入先別工種合計原価推移表」を追加しました。

◆メインメニュー[集計]→工事集計表→工種・仕入先原価推移をクリックします。

※初期値と集計対象伝票につきましては、「仕入先別原価推移表」と同じです。



仕入先別工事原価推移表

伝票番号	仕入先	品名	数量	単価	金額	仕入先	品名	数量	単価	金額
000001	001	001	100	1000	100000	001	001	100	1000	100000
000002	002	002	200	2000	400000	002	002	200	2000	400000
000003	003	003	300	3000	900000	003	003	300	3000	900000
000004	004	004	400	4000	1600000	004	004	400	4000	1600000
000005	005	005	500	5000	2500000	005	005	500	5000	2500000
000006	006	006	600	6000	3600000	006	006	600	6000	3600000
000007	007	007	700	7000	4900000	007	007	700	7000	4900000
000008	008	008	800	8000	6400000	008	008	800	8000	6400000
000009	009	009	900	9000	8100000	009	009	900	9000	8100000
000010	010	010	1000	10000	10000000	010	010	1000	10000	10000000

仕入先別工事原価推移表

仕入先別工事工種原価推移表

伝票番号	仕入先	品名	数量	単価	金額	仕入先	品名	数量	単価	金額
000001	001	001	100	1000	100000	001	001	100	1000	100000
000002	002	002	200	2000	400000	002	002	200	2000	400000
000003	003	003	300	3000	900000	003	003	300	3000	900000
000004	004	004	400	4000	1600000	004	004	400	4000	1600000
000005	005	005	500	5000	2500000	005	005	500	5000	2500000
000006	006	006	600	6000	3600000	006	006	600	6000	3600000
000007	007	007	700	7000	4900000	007	007	700	7000	4900000
000008	008	008	800	8000	6400000	008	008	800	8000	6400000
000009	009	009	900	9000	8100000	009	009	900	9000	8100000
000010	010	010	1000	10000	10000000	010	010	1000	10000	10000000

仕入先別工種合計原価推移表

●工事経歴書へ機能追加●

<概要>

工事経歴書の集計結果画面に[全て選択/解除]ボタンを追加しました。

[全て選択/解除]ボタンをクリックすると出力されている工事の出力対象のチェックがすべてONになります。

[全て選択]ボタンをクリックすると[全て解除]に切り替わります。



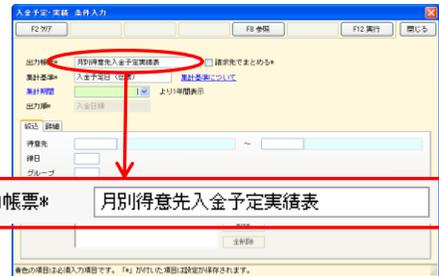
●入金予定・実績へ帳票追加●

<概要>

「月別得意先入金予定実績表」「月別得意先別工事入金予定実績表」を追加しました。

指定月から1年間の得意先別(工事毎)入金予定と実績を、月ごとに表示します。

◆メインメニュー[集計]→管理集計表→入金予定・実績をクリックします。



月別得意先入金予定実績表

得意先	月	入金予定	実績	未入金	入金率
001	1月	1000000	800000	200000	80%
002	1月	2000000	1500000	500000	75%
003	1月	3000000	2500000	500000	83%
004	1月	4000000	3000000	1000000	75%
005	1月	5000000	4000000	1000000	80%
006	1月	6000000	5000000	1000000	83%
007	1月	7000000	6000000	1000000	86%
008	1月	8000000	7000000	1000000	88%
009	1月	9000000	8000000	1000000	90%
010	1月	10000000	9000000	1000000	90%

月別得意先入金予定実績表

月別得意先別工事入金予定実績表

得意先	工事	月	入金予定	実績	未入金	入金率
001	001	1月	1000000	800000	200000	80%
001	002	1月	1000000	800000	200000	80%
001	003	1月	1000000	800000	200000	80%
001	004	1月	1000000	800000	200000	80%
001	005	1月	1000000	800000	200000	80%
001	006	1月	1000000	800000	200000	80%
001	007	1月	1000000	800000	200000	80%
001	008	1月	1000000	800000	200000	80%
001	009	1月	1000000	800000	200000	80%
001	010	1月	1000000	800000	200000	80%

月別得意先別工事入金予定実績

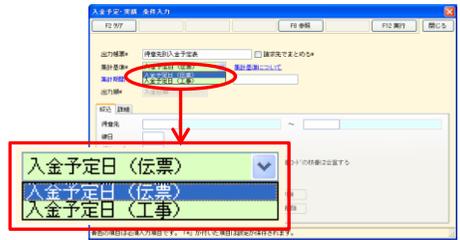
●入金予定・実績 オプション追加●

<概要>

入金予定・実績に集計基準を追加しました。

◆メインメニュー[集計]→管理集計表→入金予定・実績をクリックします。

入金予定日 (伝票)	売上伝票、入金伝票振替形式で登録した入金予定日と金額で集計
入金予定日 (工事)	工事登録の入金情報で登録した予定日と入金予定額で集計



●工事別支払集計追加●

<概要>

工事別支払集計を追加しました。

◆メインメニュー[集計]→工事集計表→工事別支払集計をクリックします。

帳票

●仕入先別支払集計表
●仕入先別工事支払集計表
●工事別仕入先集計表
●仕入先別工種毎仕入先支払集計表



■条件入力項目

項目	内容
支払残高	下記より支払残高の計算方法が選択可能。 ・発注合計—支払合計 ・仕入合計—支払合計
支払残高が0	「□期間中支払のある明細のみ出力する」にチェックしない場合、支払残高を出力するかどうかを設定。 ・出力する: 取引・残高の有無にかかわらず、全支払を出力 ・出力しない: 支払金額が0の支払は出力しない ・期間中取引があれば出力: 残高が0でも売上/入金/仕入の金額が期間中にある場合にかぎり出力。通常はこれを選択する。

●請求明細書 オプション追加●

<概要>

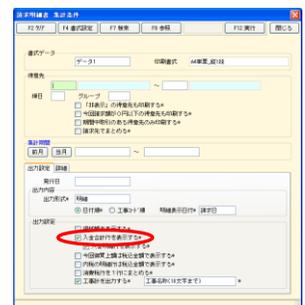
請求明細書の出力設定に「入金合計行を表示する」を追加しました。

①メインメニュー[集計]→請求明細書をクリックします。

②右の画面が開きます。入金合計行を表示したい場合は、「入金合計行を表示する」のチェックをON、表示しない場合はチェックOFFにしてください。

注意

「繰越額を表示する」オプションがチェックONの場合、入金合計行を表示することが必須となります。OFFの場合、入金合計行を表示する/しないの設定が可能です。



●請求明細書 連番設定●

<概要>

請求明細書に連番設定を追加しました。

①メインメニュー[集計]→請求明細書→「F12保存」→連番設定をクリックします。

②連番設定画面が開きますので開始番号を入力してください。

その番号から連番が開始します。

設定可能範囲:0~9999999999



注意

[連番の表示]

連番の左側を有効桁数まで0で埋めて登録します。

例)連番設定で「1」を入力

登録時に設定される請求明細番号は「000000001」

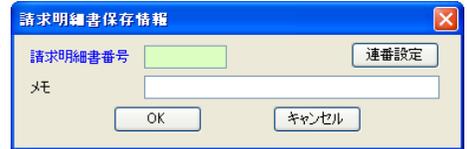
[連番の中止方法]

連番設定欄を空にして登録

[登録済の番号がある場合]

連番がすでに使用済みの場合は、登録時にエラーメッセージが表示

されます。連番設定で使用可能な番号を再設定してください。



●仕入先元帳・得意先元帳 合計金額表示●

<概要>

仕入先元帳、得意先元帳に月合計の出力オプションを追加しました。

①メインメニュー[集計]→仕入先元帳または得意先元帳をクリックします。

②条件入力画面 詳細の「締日毎に月合計を出力する」「末日毎に月合計を出力する」のチェックをONにするとそれぞれ月合計が出力されます。



仕入先元帳

Page: 1

会社名 レッツ建設
作成日 平成24年4月11日

位置日付 位置番号	科目 税区分	商品/仕様 摘要	仕入	支払	残高	工事 工種 部門
		*** 雑 費 ***			150,000	
2371733 427	材料仕入高 課税仕 戻引消費税	仮設計材料	50,000		150,000	伊勢新築 仮設工事 伊 本社建築一課
			5,500		152,500	
		*** 振替合計 ***	50,000			
		*** 消費税計 ***	5,500			
		*** 月 合 計 ***	52,500			

仕入先元帳

Page: 1

会社名 レッツ建設
作成日 平成24年4月11日

位置日付 位置番号	科目 税区分	商品/仕様 摘要	仕入	支払	残高	工事 工種 部門
		*** 雑 費 ***			200,000	
2371731 306	外注費 課税仕 戻引消費税	人天代	150,000		350,000	千歳孫子和号築工 仮設工事 伊 本社建築一課
			150,000		500,000	千歳孫子和号築工 仮設工事 伊 本社建築一課
			20,000		520,000	千歳孫子和号築工 仮設工事 伊 本社建築一課
			16,000		536,000	
		*** 振替合計 ***	320,000			
		*** 消費税計 ***	16,000			
		*** 月 合 計 ***	336,000			

●工事コード一括変更●

<概要>

工事コードの一括変更を追加しました。
登録済工事の工事コードを変更します。

- ①メニューバー[補助処理]→一括変更→工事コードをクリックします。
検索条件を指定して、「F12実行」をクリックして下さい。
- ②右画面が開きます。新コードを設定し、「F12実行」をクリックします。
- ③正常に完了した場合、「更新が終了しました。」と表示されます。



■検索結果

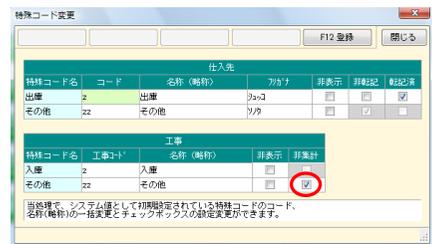
項目	内容	入力/設定方法
新工事コード	新工事コードを入力。	半角4~10桁 (枝番は2桁固定)
重複	新工事コードが他の新工事コードと重複している場合、「×」を表示する。	《入力不可》
新工事コードの変換処理	新工事コードの修正方法を選択する。 [適用] ボタンを押すと選択した内容が新工事コードにセットされる。 「◎数字のコードに自動で「0」をつけて新コードにセット」 =コードの先頭に指定桁数まで「0」をセットする。 「◎数字のコードから「0」をとって新コードにセット」 =コードの先頭から「0」をとって新コードにセットする。 「◎右から指定桁数を新コードにセット」 =現工事コードの右から指定桁数を新コードにセットする。 「◎左から指定桁数を新コードにセット」 =現工事コードの左から指定桁数を新コードにセットする。 「◎現コードに戻す」 =現工事コードをセットする。	◎選択
現在の指定桁数	[環境設定] [工事コード桁数]	《入力不可》
変換元:	[新工事コードの変換処理]の変換元を選択する。	現工事コード/ 新工事コード

●一括変更 特殊コード●

<概要>

一部資料で工事「その他」を集計対象外に設定できるようにしました。

- ①メニューバー[補助処理]→一括変更→特殊コードをクリックします。
- ②右の画面が開きます。工事「その他」を集計したくない場合はチェックON、集計する場合はチェックOFFして下さい。

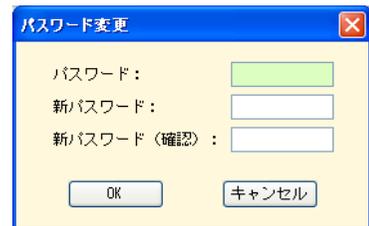


●パスワード変更●

<概要>

現在ログインしているユーザーのパスワードが変更できるようにしました。

- ①メニューバー[補助処理]→パスワード変更をクリックします。
- ②右の画面が開きます。パスワード変更画面で各項目を入力し、[OK]をクリックして下さい。



項目	内容	入力/設定方法
パスワード	現在ログインしているユーザーのパスワードを入力。	半角英数10字
新パスワード	変更したいパスワードを入力。	
新パスワード (確認)	「新パスワード」と同じ内容を入力。	

注意

- ・パスワードの管理が不要の場合は「新パスワード」、「新パスワード(確認)」が未入力状態で、[OK]を選びます。
- ・英字の大文字小文字は区別します。

●一括処理 一括仕入●

<概要>

条件に該当する複数の発注書を一括で仕入伝票に複写する処理です。

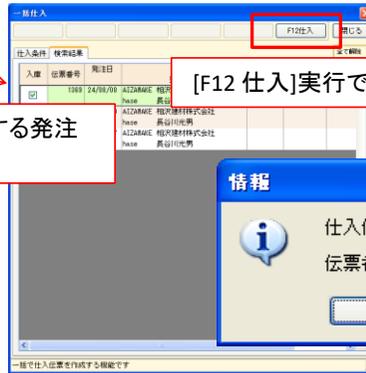
・分納はできません(分納する場合は、発注書ごとに仕入処理をおこなってください)



補助処理の一括処理から「一括仕入」を選択します



[F12 実行]で条件に該当する発注書が表示されます



[F12 仕入]実行で仕入伝票を作成します



注意

- ・発注書の残管理が『数量』の場合
入荷が「未納」の行は、発注書の金額が仕入伝票の金額に複写されます
入荷が「分納」の行は、発注残数量×単価で金額を算出します
単価が未入力の場合は、仕入伝票の金額は0円になります
- ・発注書の残管理が『金額』の場合
入荷が「未納」「分納」の行は、発注書の数量が仕入伝票に複写されます

●発注・仕入明細表へ機能追加●

<概要>

発注・仕入先明細表の集計結果画面に[ズーム対象]を追加しました。

- ・[ズーム対象]を仕入伝票に切り替えて、明細を選択して[F4ズーム]を押すと、発注書から複写した仕入伝票を開きます。
- [全て選択/解除]ボタンをクリックすると出力されている工事の出力対象のチェックがすべてONになります。

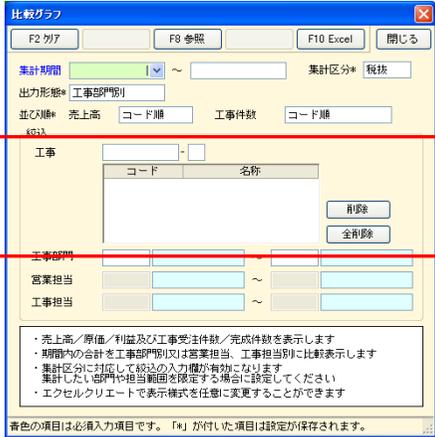
[全て選択]ボタンをクリックすると[全て解除]に切り替わります。

●管理グラフ 集計方法変更●

<概要>

比較グラフ、推移グラフにて工事の集計方法が変わりました。
 「工事」項目がなくなりました。
 変更後の集計方法は以下の通りです。

受注件数	受注日が集計期間内の工事の件数
完成件数	完成日が集計期間内の工事の件数



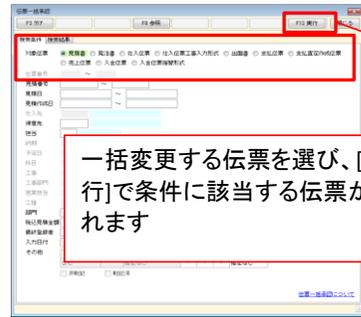
●一括処理 伝票一括承認●

<概要>

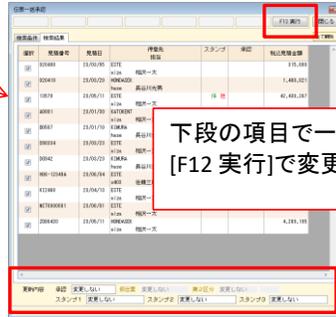
条件に該当する複数の伝票の承認・スタンプなどを一括で変更する処理です。



補助処理の一括処理から「伝票一括承認」を選択します



一括変更する伝票を選び、[F12 実行]で条件に該当する伝票が表示されます



下段の項目で一括変更する内容を選び、[F12 実行]で変更を実行します

注意

- 他のクライアントがアイコンメニュー以外の画面を開いている場合、右のメッセージが表示されます。他のクライアントで開いている画面を全て閉じてから実行して下さい。



●見積書「行切」ボタン追加●

<概要>

選択中の明細行を切り取り、他の行に移動するための機能です。



切り取りたい明細を選び、[行切]ボタンを押します。
押した後はボタンがオレンジ色になります。

[行貼]ボタンを押すと、切り取りした明細が移動します。

●検索「非転記」「転記済」条件指定方法の変更●

<概要>

「非転記」「転記済」の指定方法が「指定なし」「非転記(転記済)のみ」「非転記(転記済)以外」の3種類にしました。

その他

仮伝票	第2
含む	指定なし
非転記	転記済
指定なし	指定なし

●台帳 環境設定●

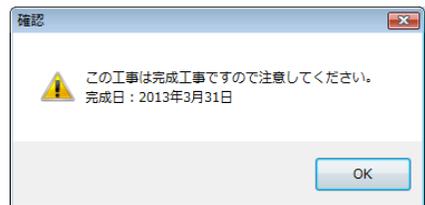
<概要>

「完成工事の確認をする」の出力内容を変更しました。

「請負金額と売上金額が一致しているか確認する」「未承認の見積書(発注書)をExcel書き出しする」を追加しました。

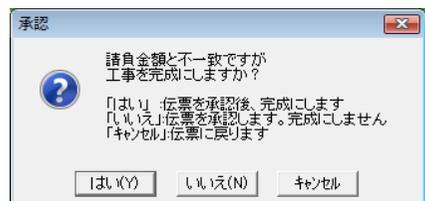
■「完成工事の確認をする」

ONIにした場合の確認メッセージに完成日を出力するようにしました。



■「請負金額と売上金額が一致しているか確認する」

ONIにした場合、売上傳票の登録時に請負金額(税抜)と売上金額(税抜)が一致していない場合は、メッセージを出力します。



■「未承認の見積書(発注書)をExcel書き出しする」

ONIにした場合、未承認の見積書(発注書)のExcel書き出しができます。

注意

ONIにした場合でも、実行予算書表紙、実行予算書明細はExcel書き出しできます。

●台帳 得意先/仕入先●

<概要>

連番設定を追加しました。
登録時の得意先(仕入先)コードを自動で付番します。
設定は得意先、仕入先の編集から行います。

①メインメニュー[台帳]→得意先(仕入先)をクリックします。
[編集]→[連番設定]を選びます。

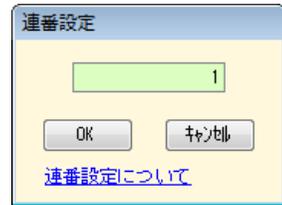
②右の画面が開きますので、開始番号を入力します。

注意

連番の自動登録を中止する場合、連番設定欄を空にして登録して下さい。

登録済の得意先(仕入先)コードがある場合:連番がすでに使用済の場合は未使用の番号まで連番が進みます。

コードの桁数は[台帳]→環境設定で設定できます(4~8桁)



●見積書 数量自動セット●

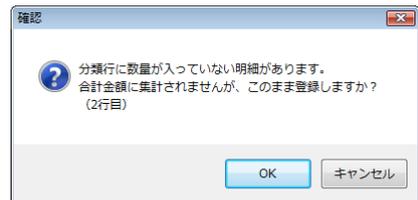
<概要>

見積書の分類行に数量を自動セットするようにしました。
分類行の入力後、子階層の行を入力する、または明細行の数量を入力すると最初に作った分類行の数量に「1」を自動セットします。

注意

自動セットした数量を削除すると、以降はその項目に数量は自動セットされません。

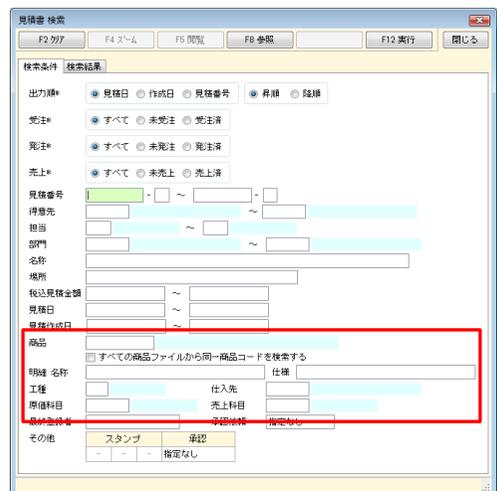
数量が入っていない分類行がある時に、[F10Excel][F11印刷][F12登録]をクリックすると、右の画面が表示されます。



●見積書 検索●

<概要>

見積書の検索条件に明細入力項目を追加しました。
「商品」「明細(名称)」「明細(仕様)」「工種」
「仕入先」「原価科目」「売上科目」



●工事登録 入力設定●

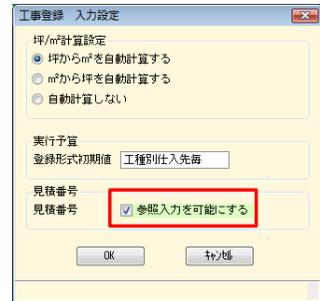
<概要>

見積番号の参照入力設定を追加しました。
入力設定から設定します。

- ①メインメニュー[日常]→工事登録をクリックします。
[編集]→[入力設定]を選びます。
- ②右画面が開きます。
「参照入力を可能にする」をチェックONにして、OKを押します。
- ③工事登録画面の見積番号が参照入力できるようになります。

注意

上記の方法で見積番号を入力した場合、
見積番号以外の項目(請負金額、実行予算、担当)は複写されません。



●工事登録 見積から複写●

<概要>

「見積番号を工事コードに複写する」オプションを追加しました。
ON=見積番号を工事コードに複写します。
OFF=工事コードは空欄で工事登録画面を表示します。
工事コードの連番設定を使用している場合は連番コードがセットされます。

注意

見積番号と工事コードを一致させない場合はチェックOFFにします。



●工事登録 実行予算●

<概要>

原価モニターに「予算-発注」「表示項目」ボタンを追加しました。

工種	品名	単価	数量	金額	単位	備注
100	土木工事	18,000	10	180,000	円	
110	基礎工事	70,000	10	700,000	円	
120	土工事	4,700	100	470,000	円	
130	土工事	2,400	100	240,000	円	
140	土工事	8,000	100	800,000	円	
150	土工事	2,000	100	200,000	円	
160	土工事	18,000	10	180,000	円	

●集計「改ページする」オプション●

<概要>

工事集計表、管理集計表、仕入先元帳、立替金明細に「〇〇毎に改ページする」オプションを追加しました。
オプションが追加された集計表は下記のとおりです。

■工事集計表

メニュー	帳票名	出力形態	オプション名
工事別仕入先集計	仕入先別工事明細表		工事毎に改ページする

■管理集計表

メニュー	帳票名	出力形態	オプション名
残高一覧	得意先別残高一覧表	得意先締日別	締日毎に改ページする
		得意先グループ別	グループ毎に改ページする
	仕入先別残高一覧表	仕入先締日別	締日毎に改ページする
		仕入先グループ別	グループ毎に改ページする
	得意先別工事残高一覧表	得意先別	得意先毎に改ページする
		得意先締日別	締日毎に改ページする
	仕入先別工事残高一覧表	仕入先別	仕入先毎に改ページする
仕入先締日別		締日毎に改ページする	
仕入先別原価分類残高一覧表	仕入先締日別	締日毎に改ページする	
	仕入先グループ別	グループ毎に改ページする	
仕入先別工事原価分類残高一覧表	仕入先別	仕入先毎に改ページする	
	仕入先締日別	締日毎に改ページする	
売上集計	売上集計表	得意先締日別	締日毎に改ページする
		得意先グループ別	グループ毎に改ページする
		売上担当別得意先毎 売上担当別科目毎	売上担当毎に改ページする
入金予定・実績	月別得意先別工事入金予定実績表	入金予定日(伝票)	得意先毎に改ページする
		入金予定日(工事)	
科目集計表	科目別工事集計表	科目別工事毎	科目毎に改ページする
	科目別得意先集計表	科目別得意先毎	
	科目別仕入先集計表	科目別仕入先毎	

■仕入先元帳

メニュー	帳票名	出力形態	オプション名
仕入先元帳	仕入先元帳	仕入先元帳(縦)	月別に改ページする
		仕入先元帳(横)	

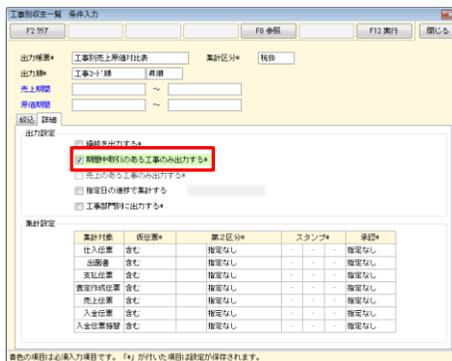
■立替金明細書

メニュー	帳票名	出力形態	オプション名
立替金明細書	立替仕入明細表		立替先毎に改ページする

●工事集計表_工事別収支一覧●

<概要>

「□期間中取引のある工事のみ集計する」オプションを追加しました。
ON=集計期間内に伝票が含まれている工事のみ表示します。



●工事集計表_出面集計●

<概要>

「従業員別日時推移表」「工事別日時推移表」のExcel書き出し機能に対応しました。
集計結果画面で[F10 Excel]ボタンを押すと、左の画面が開きます。

■「従業員毎に改頁する」

ON=印刷時、1頁に1従業員になるように出力します。
OFF=従業員毎に改頁をせずに、連続して出力します。

■「総合計のみ表示する」

ON=全従業員の合計頁だけを出力します。
OFF=従業員毎に出力します。

●管理集計表_商品集計●

<概要>

商品ファイルの絞込方法を変更しました。
商品ファイルを範囲指定できるようにしました。

●工事集計表_工事経歴書●

<概要>

「完成工事の出力件数を指定する」オプションを追加しました。
ON=完成工事の件数が指定数に達した場合、
完成工事の記載を終了します。
OFF=完成工事の記載件数を制限しません。

<完成工事の出力条件の関係>

「出力方式[]%」「軽微な工事の出力件数を指定する」
「完成工事の出力件数を指定する」の中で、
1つでも出力条件に達した時点で完成工事の記載を終了します。

<例>

出力方式 70% 軽微な工事の出力件数を指定する 10件
完成工事の出力件数を指定する 20件とした場合

■STEP1■

完成工事元請工事と下請工事に分けます。
元請工事がある場合はSTEP2に進み、ない場合はSTEP3に進みます。

■STEP2■

元請工事について請負金額の大きい順に記載します。
軽微な工事が10件、または完成工事の件数が20件に達した場合は、完成工事の記載を終了します。
元請工事の70%を満たすまでに件数が達しない場合は、STEP3に進みます。

■STEP3■

STEP2までに記載した以外の元請工事及び下請工事について、
請負金額の大きい順に記載します。
STEP2からの累計で軽微な工事が10件、または完成工事の件数が20件に達した場合、
または元請、下請を合計した全体の70%に達した場合は、完成工事の記載を終了します。

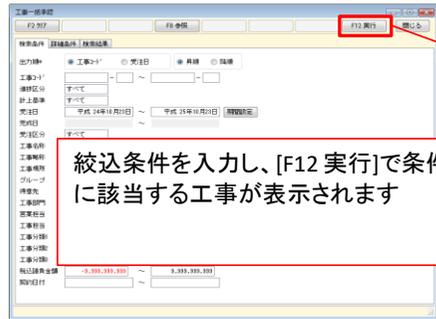
●一括処理 工事一括承認

<概要>

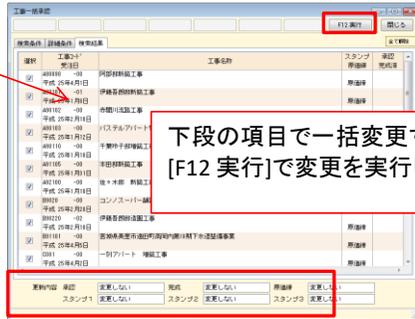
条件に該当する複数の工事の承認・スタンプなどを一括で変更する処理です。



補助処理の一括処理から「工事一括承認」を選択します



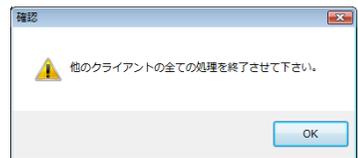
絞込条件を入力し、[F12 実行]で条件に該当する工事が表示されます



下段の項目で一括変更する内容を選び、[F12 実行]で変更を実行します

注意

- 他のクライアントがアイコンメニュー以外の画面を開いている場合、右のメッセージが表示されます。他のクライアントで開いている画面を全て閉じてから実行して下さい。



●消費税法改正に伴う変更点

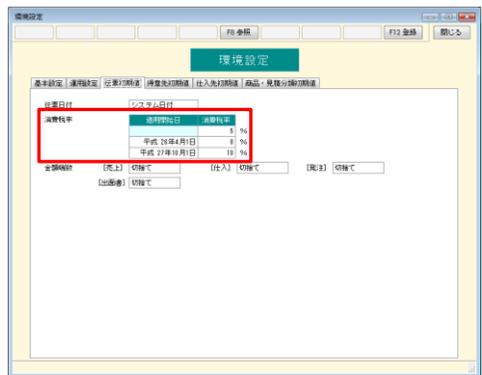
<概要>

消費税法改正に伴い、下記の内容を追加しました。

■消費税率

複数の消費税率と適用開始日が登録できるようにしました。工事登録、各種伝票画面への税率セットに使います。

※ここに登録されている税率以外では、工事登録、各種伝票は登録できません。



■工事登録

消費税率を追加しました。

※テキスト読込時の注意

消費税率が未入力のデータを読み込んだ場合、受注日より税率を自動セットします。セットされた税率は変更可能です。



■消費税率自動セット

伝票日付(工事登録では受注日)の入力時に、消費税率の適用開始日を基にして、消費税率を自動セットします。

※税率自動セット時の注意

伝票および登録方法によって、基準にする日付が異なります。

- ・伝票日付(受注日)による
工事登録、発注書、仕入伝票、支払伝票、
売上伝票、入金伝票
- ・システム日付(PC日付)による
見積書
- ・特殊
支払査定:画面指定
他伝票への複写
見積書→工事登録 :システム日付
見積書→発注書 :画面指定
見積書→売上伝票 :画面指定
工事登録→売上伝票:工事登録の進捗日付から計算(未入力の場合はシステム日付)
発注書→仕入伝票 :画面指定
仕入伝票→支払伝票:仕入伝票の支払予定日から計算(未入力の場合はシステム日付)
仕入伝票→売上伝票:システム日付
売上伝票→入金伝票:売上伝票の入金予定日から計算(未入力の場合はシステム日付)



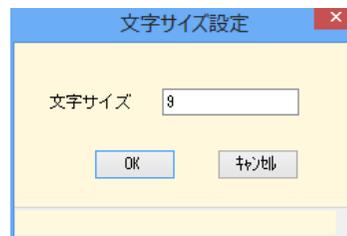
●文字サイズ変更●

<概要>

画面の文字サイズを変更する機能です。

※アイコンメニューの文字サイズは変更できません

- ①メニューバー[ファイル]→文字サイズ変更をクリックします。
- ②右画面が開きます。任意の文字サイズに変更してOKを押します。
- ③入力画面を開くと文字サイズが変更されています。
表示に合わせてウィンドウサイズを調整してください。

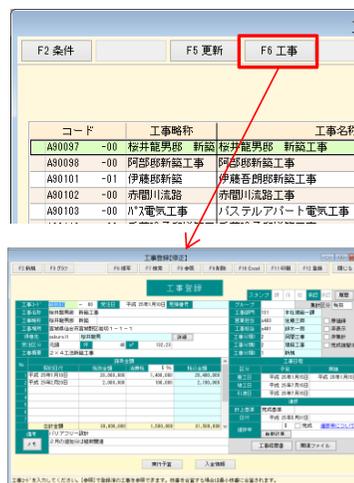


●「F6工事」ボタン●

<概要>

集計表の集計画面から工事登録を開く機能です。

明細行を選択してから「F6工事」を押すと、選択していた工事の工事登録修正画面を開きます。



●Excel書出 見積書同時出力●

<概要>

見積書のExcel書出で、表紙と明細を一度に書出できるようにしました。

<同時出力用テンプレートの作成方法>

今まで表紙と明細の2つに分かれていたテンプレートファイルを1つにまとめます。
右の画像の通りにシートを設定して保存します。



- 表紙 : 表紙のテンプレート
- 明細 : 内訳明細書のテンプレート
- 項目 : 標準テンプレートの「(明細あり)」とされているファイルの項目シート
- 設定 : 内訳明細書の設定シート

<同時出力の書出方法>

- ①印刷様式を「見積書 表紙 金額〇段」にします。
- ②「F10Excel」を押します。
- ③上記の作成方法で作成したテンプレートを選択して、「印刷」「プレビュー」「書出実行」を押します。

●入力必須項目設定●

<概要>

伝票登録時の必須項目を任意に設定できるようにしました。

- ①メニューバー[台帳]→入力必須項目設定をクリックします。
- ②右画面が開きます。入力必須にしたい項目をチェックONにしてOKを押します。
- ③設定した項目が必須項目になります。

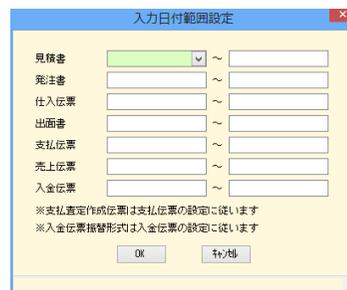


●入力日付範囲 伝票毎に設定する●

<概要>

入力日付範囲が伝票毎に設定できるようにしました。

- ①アイコンメニュー[台帳]→環境設定をクリックします。
- ②運用設定タブをクリックして、「伝票毎に設定する」をチェックONにして、「設定」ボタンをクリックします。
- ③右画面が開きます。伝票毎に設定したい日付範囲を入力して、OKを押します。

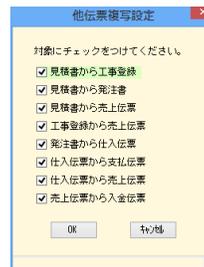


●承認済み伝票のみ他伝票へ複写可にする●

<概要>

未承認の伝票に対する複写の制限設定ができるようにしました。

- ①アイコンメニュー[台帳]→環境設定をクリックします。
- ②運用設定タブをクリックして、「承認済みの伝票のみ他伝票へ複写可にする」をチェックONにして、「設定」ボタンをクリックします。
- ③右画面が開きます。制限をかけたい複写機能をチェックONにして、OKを押します。



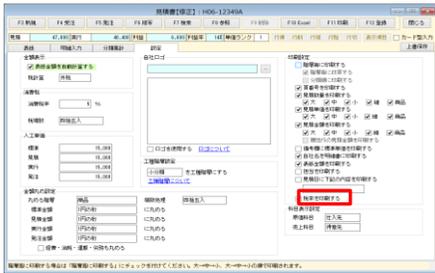
●税率を印刷する●

<概要>

見積書、発注書、売上傳票、請求明細書で消費税率を印刷できるようにしました。
 見積書、発注書、売上傳票は書式設定で初期値の登録もできます。
 各機能での設定項目の場所は下記のとおりです。

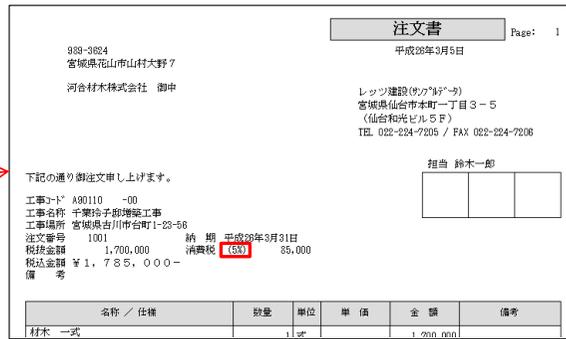
<見積書>

アイコンメニュー[日常]→見積書 設定タブ



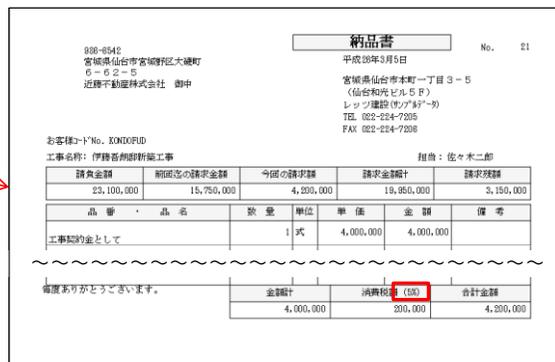
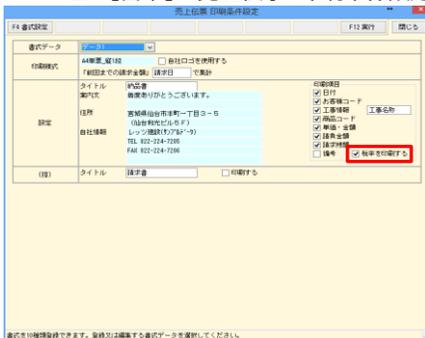
<発注書>

アイコンメニュー[日常]→発注書 印刷条件設定



<売上傳票>

アイコンメニュー[日常]→売上傳票 印刷条件設定



<請求明細書>

アイコンメニュー[集計]→請求明細書 詳細タブ

請求明細書 Page: 1

988-8182
宮城県古川市台町3丁目5番2号
エステートビル 2F
エステート住建 御中

宮城県仙台市本町一丁目3-5
(仙台和光ビル5F)
レッツ建設(株)御中
TEL 022-224-7205
FAX 022-224-7208

下記の通り御請求申し上げます。
御請求対象期間 平成28年3月1日 ~ 平成28年3月31日 発行日

繰越金額	御入金額	差引残高	今回御買上額	消費税	今回御請求額
	2,000,000	-2,000,000	9,350,000	487,500	7,817,500

日付	伝票No	品名	御買上額	御入金額	工事
28/3/10	45	電気工事	3,000,000		電気工事

●仕入伝票工事入力形式 支払へ複写●

<概要>

仕入伝票工事入力形式の内容を支払伝票へ複写できるようにしました。

- ①仕入伝票工事形式で支払に複写したい伝票を開き、「F4支払」をクリックします。
- ②条件入力画面が表示されます。必要な条件を入力して、「F12実行」をクリックします。

- ③右画面が表示され、支払伝票が登録されます。続けて作成された支払伝票を開くこともできます。

●締日毎に月計を出力する●

<概要>

工事原価明細書で任意の月締日を指定して集計できるようにしました。

- ①アイコンメニュー[集計]→工事集計表→工事原価明細を開きます。
- ②詳細タブをクリックして「□締日毎に月計を出力する」をチェックONにします。
- ③締日を指定して「F12実行」を押すと、集計結果画面に指定した締日での月計が表示されます。

●消費税集計表●

<概要>

指定期間内の売上・仕入の税抜金額、消費税額を税区分別消費税率毎に集計します。

- ①アイコンメニュー[集計]→管理集計表→消費税集計を開きます。
- ②集計条件を入力して「F12実行」をクリックします。



- ③集計結果画面が開きます。
「F10Excel」からExcel書出し、「F11印刷」から印刷ができます。



■項目(ソート順:伝票種類別伝票税区分順)

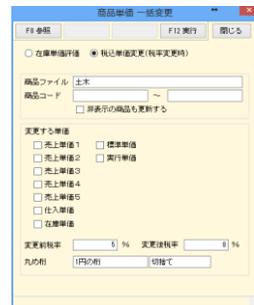
項目名	出力内容
略称	集計元の税区分を表示
名称	伝票種類、税区分を表示
税率	伝票ヘッダ部の消費税率を表示
税抜金額	税区分別消費税率毎の税抜金額合計
消費税額	税区分別消費税率毎の消費税額合計
合計金額	税区分別消費税率毎の税込金額合計

●税込単価変更(税率変更時)●

<概要>

消費税率の変更時、商品登録で入力した税込単価を一括変更します。

- ①メニューバー[補助処理]→一括変更→商品単価を開きます。
- ②右画面が開きます。「○税込単価変更(税率変更時)」を選択します。
- ③変更する商品、単価、変更前後の税率を指定して「F12実行」をクリックします。
- ④該当する商品の税込単価が一括変更されます。



●前受金請求書●

<概要>

前受金請求書の印刷が可能です。売上伝票と同等の内容を入力できます。

- ①メニューバー[日常]→[前受金請求書]を開きます。
- ②各項目を入力します。
- ③入力後、「F12登録」をクリックすると登録されます。
「F10Excel」からExcel書出し、「F11印刷」から印刷ができます。



- ・前受金請求書は環境設定にて、「□前受金請求書を使用する」をチェックONにすることで使用できます。
- ・前受金請求書の内容は売上伝票、入金伝票には複写できません。
- ・[F10Excel]、[F11印刷]から出力する際のレイアウトは売上伝票と共用です。

●商品ファイル一括整理●

<概要>

商品ファイルの内容を一括で移動・複写・削除できます。

①メニューバー[補助]→[一括処理]→[商品ファイル一括整理]を開きます。



②検索条件画面が表示されます。

検索条件を指定し、[F12実行]をクリックすると検索結果画面が表示されます。



③画面下部の項目で一括処理する内容を指定して、

[F12実行]をクリックすると、選択した処理内容が適用されます。



■処理設定

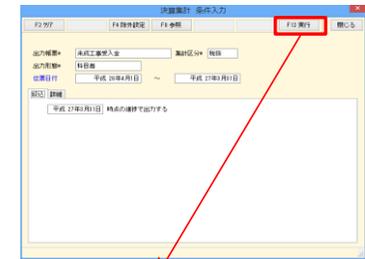
項目名	内容
移動	選択した商品を「移動・複写先」の商品ファイルに移動する
複写	選択した商品を「移動・複写先」の商品ファイルに複写する
削除	選択した商品を削除する
移動・複写先	移動、複写の際の移動先を指定する
同一コードの移動・複写	◎上書きする:同一コードのデータを削除し、新しく読み込む内容に置き換える ◎読込しない:同一コードの項目のデータを除いて読み込む

●決算集計●

<概要>

指定期間内の未成工事受入金、未成工事支出金を科目毎、または工事毎に集計します。

①アイコンメニュー[集計]→管理集計表→決算集計を開きます。



②集計条件を入力して「F12実行」をクリックします。

集計から除外したい工事がある場合は「F4除外設定」から設定できます。

③集計結果画面が開きます。

「F10Excel」からExcel書出し、「F11印刷」から印刷ができます。



- ・集計表は貸借の形式で集計します
- ・伝票で入力したマイナス金額は、逆仕訳として集計します

■条件入力項目

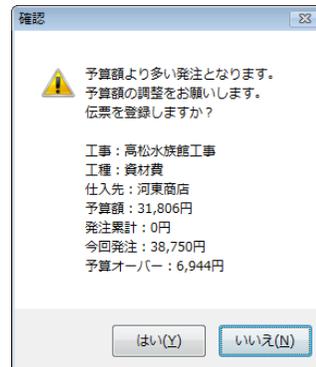
項目	内容	入力/設定方法
___時点の進捗で出力する	枠内に指定した日付時点で集計し、未成の工事だけを集計します。 伝票日付の右側の日付が自動セットされます。	▼年月日/カレンダー
科目	科目コードを範囲指定。	[参照]科目
<input checked="" type="checkbox"/> 繰越を出力する	ON=「___時点から繰越を計算する」にて指定した日付から、伝票日付までの期間の金額累計を繰越として表示する。	チェックボックス
___時点から繰越を計算する	枠内に指定した日付から繰越を計算します。	▼年月日/カレンダー
<input checked="" type="checkbox"/> 出面書を集計する	<未成工事支出金のみ> ON=出面書の金額を集計対象にします。	チェックボックス

<input checked="" type="checkbox"/> 非転記伝票を集計する	ON=「 <input checked="" type="checkbox"/> 非転記」がONの伝票を集計対象にします。	チェックボックス
<input checked="" type="checkbox"/> マイナスの金額は貸借を逆に出力する	ON=伝票で入力したマイナス金額は、逆仕訳として集計します。 OFF=伝票で入力したマイナス金額は、マイナス金額として集計します。	チェックボックス
<input checked="" type="checkbox"/> 進捗指定日より後に受注した工事を集計対象とする	ON=「 <input type="text"/> 時点の進捗で出力する」に入力されている日付以降に受注した工事を集計対象にする。	チェックボックス

●発注書登録時に予算を確認する●

<概要>

発注書の登録時に発注金額が実行予算をオーバーしていないかを確認する機能です。
発注金額が実行予算をオーバーしている状態で「F12登録」をクリックした場合、右記の確認画面が表示されます。



<設定方法>

- ①アイコンメニュー[台帳]→環境設定を開きます。
- ②運用設定タブをクリックして、「発注書登録時に予算を確認する」をチェックONにして、金額確認時の計算基準を「工事毎」「工事別工種毎」「工事別仕入先毎」「工事別工種毎仕入先毎」から選択します。
- ③「F12登録」をクリックします。

●タックシール印刷●

<概要>

得意先と仕入先にタックシール(ヒコ GB961_A4タック12面)の印刷機能を追加しました。

- ①アイコンメニュー[台帳]→得意先(仕入先)を開きます。
- ②「F11印刷」をクリックします。
特定の得意先だけ印刷する場合は「出力範囲」、「得意先を個別に選択する」を使用します。
- ③オプションの印刷様式を「タックシール」にします。
「印字開始位置」から印字開始位置を設定できます。
「同一シール印刷枚数」にて同一得意先の印刷枚数を設定できます。
- ④「実行」をクリックすると印刷を開始します。



●伝票検索機能の強化●

<概要>

検索の条件入力画面に下記の項目を追加しました。

・「合計」「明細」

金額の検索対象を合計金額か1行毎の明細金額かを選択できます。

・「税抜」「税込」

税抜金額、税込金額どちらから検索するかを選択できます。



※検索結果には「税抜金額」「消費税額」「税込金額」を追加しました。

入金、支払関連の伝票では「合計金額」を表示します。

伝票日付	伝票番号	仕入先	税抜金額	消費税額	税込金額
平成 28年12月31日	884	安藤屋	48,025	2,391	48,209
平成 28年12月31日	271	穴塚通工業	1,246,760	62,338	1,309,098
平成 28年11月30日	165	本村コンクリート	3,740,895	187,698	3,927,911
平成 28年11月25日	270	河東商店	497,511	21,873	458,394
平成 28年11月20日	288	東北商会 (株)	1,388,480	69,924	1,468,414
平成 28年10月31日	281	鈴木電気工業	85,280	1,764	87,044
平成 28年10月29日	240	鈴木電気工業	84,020	2,231	87,351
平成 28年10月29日	243	相澤建設株式会社	9,100	455	9,555
平成 28年10月20日	259	東北商会 (株)	607,020	30,350	637,370

●請求明細書 保存済み請求明細書の選択出力●

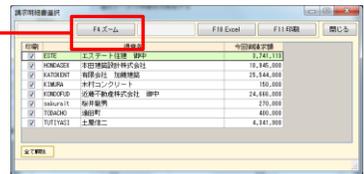
<概要>

保存済みの請求明細書を得意先毎に選択して出力できるようにしました。

- ①アイコンメニュー[集計]→請求明細書をクリックします。
- ②「F7検索」ボタンをクリックします。
- ③出力したい請求明細書をクリックして、「得意先選択」ボタンを押します。
「OK」を押した場合は従来通り、全得意先を出力します。



- ④選択画面が表示されます。「印刷」にチェックを付けて、「F10Excel」「F11印刷」をクリックすると、選択した得意先をまとめて出力できます。
得意先をクリックして「F4ズーム」ボタンを押すと、選択した得意先の請求明細書画面を表示します。



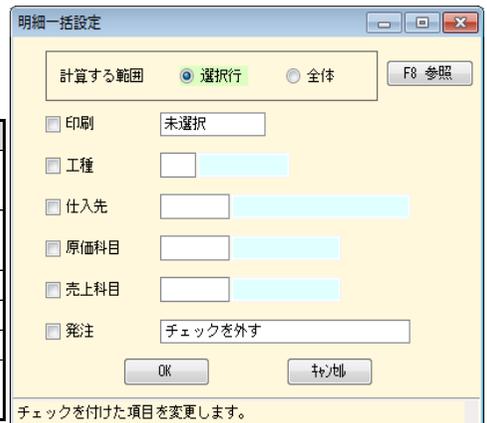
●見積書 明細一括設定●

<概要>

明細入力画面にて、一括設定に対応した項目の一括入力ができるようにしました。

<対応項目>

項目名	内容
印刷	「未選択」「見印無」「実印無」「全印無」から選択。
工種	工種階層に設定した行にのみ指定した工種を一括設定。
仕入先	指定した仕入先を一括設定。
原価科目	指定した原価科目を一括設定。
売上科目	指定した売上科目を一括設定。
発注	「チェックを外す」「発注済にチェックを付ける」「発注にチェックを付ける」から選択。



<操作方法>

- ①見積書の明細入力画面でメニューバー[編集]→明細一括設定をクリックします。
特定の行のみ一括入力する場合は予め行選択しておきます。
- ②明細一括設定画面が表示されます。
一括設定したい項目にチェックを付けて、設定内容を入力します。
- ③「OK」ボタンを押すと明細に入力内容が反映されます。

●現場日報連動 自動登録●

<概要>

レッツ原価管理Go!にて工事を登録した際に、レッツ現場日報forWebへ工事を自動登録できるようにしました。

<設定方法>

- ①メニューバー[補助]→現場日報連動→工事データ出力をクリックします。
- ②工事データ出力画面が表示されます。「F4設定」ボタンを押します。



- ③設定画面が表示されます。「レッツ現場日報forWeb自動登録を使用する」にチェックをつけて、出力設定項目を設定します。

URL:レッツ現場日報forWebへアクセスするURLを指定
(例)http://〇〇〇〇.com/lets.exe

認証パスワード:レッツ現場日報forWebへアクセスする時の
認証パスワードを指定

ユーザーID:レッツ現場日報forWebへアクセスする時の
ユーザーIDを指定

パスワード:レッツ現場日報forWebへアクセスする時の
ユーザーIDに対応したパスワードを指定

- ・「工事登録と同時にレッツ現場日報forWebに登録する」
 - ・「工事データ出力と同時にレッツ現場日報forWebに登録する」
- 該当の操作をした時点でレッツ現場日報forWebに工事を登録します

- ④「OK」ボタンを押して設定完了です。



●10%消費税制改正対応●

・環境設定_伝票初期値に「軽減税率」を追加しました。



・各種伝票の税区分に軽減税率対応区分を追加しました。
軽減税率対応税区分を選択すると、消費税率が軽減税率に自動的に切り替わります。



・請求明細書が適格請求書等保存方式(インボイス)に対応しました。

繰越金額	御入金額	差引[残高]	今回御売上額	消費税	今回御請求額
			15,000	1,400	16,400
日付	伝票No	品名	御売上額	御入金額	工事
19/10/1	83	建材販売 Aセット	10,000		販売用工事
19/10/1	83	消費税	1,000		
19/10/1	84	お食事セット	5,000		販売用工事
19/10/1	84	消費税	400		
		(軽減 対象 税抜)	5,000		
		(消費税 軽減 分)	400		
		(10% 対象 税抜)	10,000		
		(消費税 10% 分)	1,000		

- ・登録番号
- ・税率毎の消費税額計及び、税率毎の本体金額計

●連番設定(伝票)●

<概要>

今回の伝票登録時に自動付番する番号を設定します。

■設定

(対象の伝票)>メニューバー[編集]>[連番設定]から設定画面を開き、連番設定欄に開始番号を入力します。

入力後、[OK]をクリックすると登録されます。

登録した番号から連番で伝票番号が設定されます。

- ※ メニューバー[台帳]>[環境設定]>[運用設定]の「伝票番号を入力可にする」がOFFの時、連番設定は使用できません。
- ※ 設定した番号が使用済みの場合は、次の空いている番号を検索し設定します。(伝票番号の重複を許可している場合を除く)
- ※ 伝票登録の連番機能を止めることはできません。
- ※ 従来の動作と同様に、伝票番号を直接入力して登録すると次回の伝票登録時はその続きから自動付番されます。

レッツ原価管理Go! 訂 正 表

「レッツ原価管理Go!」をご利用くださいます、誠にありがとうございます。
本マニュアルに一部訂正・追加がございますので、謹んで次のとおり訂正いたします。

ページ	場所	誤	正
6	日本語OS_サーバー	Windows Server 2008 Windows Server 2003 SP2以降	Windows Server 2022 Windows Server 2019 Windows Server 2016 Windows Server 2012 R2 日本語OS 32ビット版(x86)または64ビット版(x64)
	日本語OS_クライアント	Windows 7 Windows Vista Windows XP SP3以降	Windows 11 Windows 10 Windows 8.1 日本語OS 32ビット版(x86)または64ビット版(x64)
	メモリ_クライアント	Windows 7: 1GB以上(推奨: 1.5GB以上) Windows Vista: 1GB以上(推奨: 1.5GB以上) Windows XP: 512MB以上(推奨: 768MB以上)	Windows 11/10/8.1: 1GB以上 (1.5GB以上推奨)
7	データベース	(追加)	Express Editionは1データベース領域として10GBまで使用可能です。
	WAN環境	(追加)	リモートデスクトップサービス(ターミナルサービス)が必要です。*Windows Serverのバージョンにより、環境に制限があります。事前に弊社までご連絡ください。
8	得意先初期値_締日、入金日	(28以降は31として扱う)	(29以降は31として扱う)
9	仕入先初期値_締日		
11	得意先_入金日	(28以降は31として扱う)	(29以降は31として扱う)
12	仕入先_支払日		
22	仕入伝票_入荷	未納/分納/完納 発注から複写の場合のみ	未納/分納/完納 発注から複写の場合のみ (入力不可)
61	環境設定_運用設定	<input checked="" type="checkbox"/> 売上伝票承認と同時に工事を完成にする	<input checked="" type="checkbox"/> 売上伝票登録と同時に工事を完成にする
70	見積基本設定	端数処理	税端数
76	自社ロゴの使用	ロゴは縦横比 見積書1:3、その他1:2で作成し、BMP形式またはJPEG形式で保存してください。	ロゴは見積書表紙107×321ピクセル、その他70×210ピクセルで作成し、BMP形式またはJPEG形式で保存してください。
		ロゴが上記比率で作成されていない場合は、この比率に合うように自動的に拡大・縮小される。	ロゴが上記サイズで作成されていない場合は、このサイズに合うように自動的に拡大・縮小される。
89	得意先_部署名	全角6字	全角20字
89	得意先_役職名	全角6字	全角10字
91	仕入先_部署名	全角6字	全角20字
91	仕入先_役職名	全角6字	全角10字
95	見積設定	実行単価1	実行単価
99	従業員_名称	全角7字	全角12字
121	実行予算	(追加)	F9削除: 現在表示している実行予算の内容を全て削除する。 行削除: 実行予算登録画面で選択中の行を削除する。
147	仕入へ複写	未納: 発注書から複写で仕入伝票を起票していない場合、仕入伝票の数量(/金額)が「0」の場合	未納: 仕入伝票の数量(/金額)が「0」の場合
190	支払予定・実績_帳票	●仕入先別支払予定表(A4横): 仕入先別に支払伝票の.....	●仕入先別支払予定表(A4横): 仕入先別に仕入伝票の.....
199	出力設定タブ	発行日/締切日(ヒサゴの場合)	発行日/締切分(ヒサゴの場合)
262	科目のNo.3_科目分類	必須: 空白	必須: ○
	科目のNo.4_原価分類	0: 材料費/1: 労務費/2: 外注費/3: 諸経費/4: その他/5: 対象外	0: 材料費/1: 労務費/2: 外注費/3: 諸経費/4: その他
263	得意先	(追加)	No.53 項目: 見積書表紙1 印刷様式 No.54 項目: 見積書表紙2 印刷様式 No.55 項目: 売上伝票 印刷様式 No.56 項目: 請求明細書 印刷様式 備考 0: 指定なし/1: データ1/2: データ2.../10: データ10

263	得意先	(追加)	No.57 項目:税計算売上 備考 0:内税/1:外税明細単位/2:外税伝票計/3:別記
		(追加)	No.58 項目:税計算入金 備考 0:内税/3:別記
		(追加)	No.59 項目:担当コード 型:文字 桁数:4
263	得意先のNo.33_入金 サイクル	0:当月/1:翌月/2:翌々月/3:3ヶ月/ 4:4ヶ月/5:5ヶ月/6:6ヶ月	0:当月/1:翌月/2:翌々月/3:3ヶ月/ 4:4ヶ月/5:5ヶ月/6:6ヶ月/7:対象外/8:請求日と同じ
263	仕入先のNo.32_支払 サイクル	0:当月/1:翌月/2:翌々月/3:3ヶ月/ 4:4ヶ月/5:5ヶ月/6:6ヶ月	0:当月/1:翌月/2:翌々月/3:3ヶ月/ 4:4ヶ月/5:5ヶ月/6:6ヶ月/7:対象外/8:仕入日と同じ
264	仕入先のNo.44_手形 条件丸め桁	0:1円/1:10円/2:100円/3:1,000円/ 4:10,000円の桁に丸める	0:1円/1:10円/2:100円/3:1,000円/ 4:10,000円/5:100,000円の桁に丸める
264	仕入先	(追加)	No.70 項目:発注書 印刷様式 備考 0:指定なし/1:データ1/2:データ2.../10:データ10
			No.71 項目:税計算発注 No.72 項目:税計算仕入 備考 0:内税/1:外税明細単位/2:外税伝票計/3:別記
264	商品のNo.5_単位	桁数:40	桁数:4
266	従業員	(追加)	No.8~12 項目:項目6~10 型:数字 桁数:6
267	見積書(明細)の No.4_行属性	No.4	No.3
	見積書(明細)の No.3_印刷	No.3	No.4
268	見積書(明細)	(追加)	No.38 項目:売上科目コード 型:文字 桁数:8
	見積書(明細)	(追加)	No.39 項目:売上科目名 型:文字 桁数:14 備考:読込時不要
	見積書(明細)の No.38_備考	No.38	No.40
	見積書(明細)の No.39_発注済	No.39	No.41
268	工事登録	(追加)	No.121 項目:グループ 型:文字 桁数:10
			No.122 項目:グループ 型:数字 桁数:整数3,少数2 備考:0~100% 空白時の値:受注日により自動セット
269	発注書のNo.54_シス テム予約	(システム予約)	項目: No 型:文字 桁数:半角4桁
	発注書のNo.67_税 区分	空白時の値:空白	空白時の値:科目の税区分
270	仕入伝票のNo.42_税 区分	空白時の値:空白	空白時の値:科目の税区分
	仕入伝票	(追加)	No.53 項目:立替先コード
271	出面書	(追加)	No.26~30 項目:勤怠項目6~10 型:数字 桁数:整数4,少数2
271	支払伝票のNo.28_税 区分	備考 [.....7:課仕返/9:不明/10:立替仕] 空白時の値:空白	備考 [.....7:課仕返/9:不明] 空白時の値:科目の税区分
272	売上伝票のNo.46_税 区分	空白時の値:空白	空白時の値:科目の税区分
273	入金伝票のNo.28_税 区分	空白時の値:空白	空白時の値:科目の税区分

ページ	場所	誤
171	入金伝票振替形式 ■ 元帳の表示について	<p>・科目分類「売掛金」「前受金」の科目は得意先元帳に表示されません。</p> <p>・相殺で入力した科目分類「原価」「販管費」「仮払消費税」「営業外費用」の科目は入金以外に仕入・支払にも集計されます。</p> <p>この場合仕入先は「その他」になり、仕入と支払に同時計上されます。</p> <p>・科目元帳には伝票の借方、貸方どおりに集計されます。</p> <p>・表示順は得意先元帳は1行ごとに貸方→借方、仕入先元帳は借方→貸方の順に表示します。</p> <p>・科目元帳は1行ごとに「科目」で定められた貸借区分から表示します。</p> <p>例：現金(借方)→貸方の順</p> <p>・工事集計表では1行ごとに売上・入金は売上→入金、仕入・支出は仕入→支払の順で表示します。</p> <p>・得意先元帳・仕入先元帳で「諸口」を表示しない設定ができます。</p> <hr/> <p style="text-align: center;">正</p> <p>・科目分類「売掛金」「前受金」の科目は得意先元帳に表示されません。</p> <p>・相殺で入力した科目分類「原価」「販管費」「仮払消費税」「営業外費用」の科目は入金以外に仕入・支払にも集計されます。</p> <p>この場合工事集計表では仕入先は「その他」になり、仕入と支払に同時計上されます。</p> <p>・科目元帳には伝票の借方、貸方どおりに集計されます。</p> <p>・表示順は得意先元帳は1行ごとに貸方→借方、仕入先元帳は借方→貸方の順に表示します。</p> <p>科目元帳は1行ごとに「科目」で定められた貸借区分から表示します。</p> <p>例：現金(借方)→貸方の順</p> <p>・工事集計表では1行ごとに売上・入金は売上→入金、仕入・支出は仕入→支払の順で表示します。</p> <p>・得意先元帳・仕入先元帳で「諸口」を表示しない設定ができます。</p>